
*

*

*

*

*

平成 3 1 年 度

*

*

*

*

事 業 報 告 書

*

*

*

*

*

*

目 次

社会福祉法人 狛江福祉会	1 ページ
特別養護老人ホーム こまえ苑	1 4 ページ
高齢者デイサービスセンター こまえ苑 ..	2 7 ページ
地域包括支援センター こまえ苑	4 6 ページ
居宅介護支援事業所 こまえ苑	5 3 ページ

*

*

*

*

*

社会福祉法人 狛江福祉会

*

*

*

*

*

*

*

*



1. 総括

(はじめに)

平成31年度は、2月からの新型コロナウイルスの対応などで介護事業所として今までにない厳しい年度末になりました。

特別養護老人ホーム及びショートステイの稼働率は、インフルエンザ対策の徹底と看取り介護の開始により、稼働率96.8%と昨年よりもさらに0.8%上がり介護報酬の増収になりました。この稼働率96.8%は平成22年度からの10年間で2番目に高い稼働率になりました。特にショートステイは営業活動に加え特養空床利用などの工夫により稼働率86.5%から94.6%と大幅に上昇しました。また嘱託医の24時間対応により救急搬送の激減と入院者数も34人から19人に減らせることができました。

一方デイサービスは、通所介護、認知症通所介護ともに稼働率が低く厳しい状況が続いております。また、地域包括支援センターでは、市の委託事業も着々と実績を重ねており相談件数が伸びております。訪問サービス及び居宅介護支援事業は職員の増員により伸びております。

経営ビジョンの「収入の確保」のために、デイサービスの稼働率向上及び居宅支援事業所の契約件数増加に向けた更なる努力をいたします。また、「コストの削減」には更なる節約を前面に押し出し、最小の経費で最大の効果を生み出すよう努めていきます。

人材確保では、リニューアルしたホームページでの継続的な情報の発信が経験者の採用につながったと考えております。そして、学生のための就職情報サイトにより昨年度に続き新卒者1人の採用が決まりました。東京都介護職員宿舎借上げ支援事業、介護職員奨学金返済・育成支援事業の活用などで安定した職員体制にしていきたいと考えております。さらに、10月からは介護職員特定処遇改善加算を財源とした手当を翌年度になりますが5月支給予定です。これら正規職員の離職ゼロの取り組みにより1.5%という低い離職率に抑えることができました。

効率の良い運営や事業の充実を図るうえで重要なことは、担い手である職員を育てることになりますので、継続的な「人材育成」に力を入れてきました。利用者個々の状況にあった処遇向上や安心安全な介護を進めるために、苑内研修において介護技術の向上・平準化を図るとともに、東京都社会福祉協議会が開催する研修のみならず、民間企業が企画するイノベーションクラブの研修も受講し、専門性の向上や組織人としてのマナーアップを図りました。また、資格取得及び自己啓発の自主研修制度を充実させ、当該制度を活用し介護福祉士及び社会福祉士主事任用資格を各1人取得しました。

今後とも、安心安全な介護を親切丁寧に提供し、法人の理念であります「喜ばれ、選ばれ、信頼される施設」を目指して、職員が一丸となって努力してまいります。

2. 理事会・評議員会の開催状況

理事会・評議員会の開催年月日、議題等は次のとおり。

開催年月日		議 題 ・ 報 告 事 項 等
第 一 回 理 事 会	令和元年 6月7日 金曜日	(1) 報告事項 報告第1号 苦情解決第三者委員取扱いの苦情について(平成30年度分) (2) 議 案 議案第1号 平成30年度事業報告について 同第2号 平成30年度財務報告について 同第3号 評議員会の招集事項の決定について 同第4号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準通所型サービス)「こまえ苑」運営規程一部改正(案)について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他
第 一 回 評 議 員 会	令和元年 6月24日 月曜日	(1) 報告事項 報告第1号 平成30年度事業報告について (2) 議 案 議案第1号 平成30年度財務報告について 同第2号 理事及び監事の選任について (3) 協議事項 ① 次回評議員会の開催日程について (4) その他
第 二 回 理 事 会	令和元年 6月24日 月曜日	(1) 報告事項 なし (2) 議 案 議案第5号 理事長の互選及び業務執行理事選任について 同第6号 施設・設備整備等積立金の一部取り崩しについて 同第7号 平成31年度補正予算(第1号)について (3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について (4) その他

<p>第 三 回 理 事 会</p>	<p>令和元年 10月28日 月曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第2号 各事業上半期利用状況について</p> <p>(2) 議案 議案第8号 社会福祉法人狛江福祉会「こまえ苑」給与規程の一部改正(案)について 同第9号 指定介護老人福祉施設・指定短期入所生活介護事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第10号 指定通所介護事業所、指定認知症対応型通所介護事業所、狛江市介護予防・日常生活支援総合事業(国基準及び市基準通所型サービス)「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第11号 指定居宅介護支援事業所「こまえ苑」運営規程の一部改正(案)について 同第12号 平成31年度補正予算(第2号)について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
<p>第 四 回 理 事 会</p>	<p>令和2年 1月31日 金曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第3号 監事監査の結果について</p> <p>(2) 議案 議案第13号 令和2年度からの給食調理業務委託契約の締結会社変更について 同第14号 令和2年度の主要な業務契約について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>
<p>第 五 回 理 事 会</p>	<p>令和2年 3月27日 木曜日</p>	<p>(1) 報告事項 報告第4号 特別養護老人ホーム及び居宅支援事業所に係る福祉サービス第三者評価受審結果について</p> <p>(2) 議案 議案第15号 平成31年度補正予算(第3号)について 同第16号 社会福祉法人狛江福祉会定款施行細則の一部改正(案)について 同第17号 令和2年度事業計画について 同第18号 令和2年度予算について</p> <p>(3) 協議事項 ① 次回理事会の開催日程について</p> <p>(4) その他</p>

3. 共通部門

(1) 職員の配置状況

令和2年3月31日現在

職 種 \ 施 設	特別養護 老人ホーム	高齢者デイ サービスセンター	地域包括 支援センター	居宅介護 支援事業所	計
施 設 長	1				1
副 苑 長					
事 務 員	4	(1)	(1)		4 (2)
生 活 相 談 員	2	2 2 (兼務再掲)			4
介 護 職 員	2 (18)	8 (8)			36 (26)
保 健 師			1		1
看 護 職 員	4 (3)	1 (3)	1		6 (6)
管 理 栄 養 士	1				1
主任介護支援専門員			1	2	3
介護支援専門員	1 (兼務再掲)		2 (2)	3 (1)	5 (3)
社 会 福 祉 士			1		1
機能訓練指導員	1 (1)				1 (1)
サービス提供責任者		2			2
ヘルパー		(22)			(22)
運 転 手	(1)	(4)			(5)
医 師	(4)				(4)
居 室 整 備	(2)				(2)
調 理 員	委 託				
計	41 (29)	13 (38)	6 (3)	5 (1)	65 (71)

注：() 内は非正規職員の別掲。

(2) 正規職員採用・退職状況

<特別養護老人ホーム>

採 用

職 種 \ 年 月 日	平成31年	令和2年	計	摘 要
	4 / 1	3 / 1		
介護職員	2	1	3	
計	2	1	3	

退 職 該当なし

<高齢者デイサービスセンター>

採用

職 種	年 月 日	平成31年	計	摘 要
		4 / 1		
介護職員		1	1	
計		1	1	

退職

職 種	年 月 日	令和元年	計	摘 要
		11/30		
介護職員		1	1	自己都合による
計		1	1	

<地域包括支援センター・居宅介護支援事業所>

採用

職 種	年 月 日	平成31年	令和元年	計	摘 要
		4 / 1	12/1		
介護支援専門員		1	1	2	
計		1	1	2	

退職 該当なし

(3) 職員研修実施状況

1) 施設外研修

①東京都及び関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
キャリアパス対応生涯研修課程(初任者研修) 既卒者	5月(2日間)	1
キャリアパス対応生涯研修課程(初任者研修) 新卒者	5月(2日間)	2
東京都認知症介護実践者研修	第6回 6,7月(6日間)	1
	第7回 7,8月(6日間)	1
東京都認知症介護基礎研修	10~11月(2日間)	2
	2月(2日間)	1
東京都地域包括支援センター職員研修(初任者研修)	6月(2日間)	1
東京都地域包括支援センター職員研修(現任者研修)	12~1月(2日間)	2
認知症初期集中支援チーム員研修	8月(2日間)	1
	1月(2日間)	1
第1回東京都介護予防推進会議	5/27	1
東京都介護支援専門員更新研修	8~10月(6日間)	1
	11~2月(6日間)	1
東京都介護支援専門員更新研修(実務経験者)	1~2月(5日間)	1

東京都主任介護支援専門員更新研修	10～1月(7日間)	1
福祉用具サービス業務従事者講習会(基礎講習)	6月(2日間)	2
福祉用具サービス業務従事者講習会(テーマ別講習)	9～10月(3日間)	1
	12～1(2日間)	1
第2種衛生管理者受験準備講習会	7月(3日間)	1
キャラバンメイト養成研修	8/8	1
労働基準法等に関する研修	8/9	1
介護技術の基本とマニュアル作り研修	8/10	1
擁護者による高齢者虐待対応研修	9月(3日間)	1
区市町村職員等高齢者権利擁護実践研修(テーマ別)	10/3	1
施設居宅系サービス向け 高齢者虐待防止研修	11/9	2
自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議実践者養成研修	9月(2日間)	1
	10～11月(2日間)	1
自立支援重度化防止に向けた研修	12/24	1
介護福祉士実習指導者講習会	10～11月(4日間)	1
東京都介護職員等によるたんの吸引等研修 (不特定多数の者対象)	10,11月(9日間)	2
HIV/AIDS症例懇話会	11/2	1
人事管理研修 法人の価値を高める人事管理と経営戦略	11/11	1

②東京都社会福祉協議会関係機関主催

名 称 等	開催日程	人数
北南地域ブロック会議	6/6 11/21	1
介護報酬請求事務に関する研修会(基礎編)	6月(2日間)	1
生活支援コーディネーター 初任者研修	7月(2日間)	1
社会福祉法人・施設 会計基礎実務研修会	7～8月(4日間)	1
専門職それぞれの視点から考える看取りケア	7～10月(3日間)	1
介護職員等特定処遇改善加算(新加算)について	7/23	1
令和元年度 従事者共済会システム説明会	11/21	1
新時代の労務管理を学ぶ会	11/8	1
だれもが安心して暮らせるための地域でできること	1/10	1

③各種研修会等

名 称 等	開催日程	人数
精神保健福祉研修 基礎研修(精神科領域の理解)	6/13	1
精神保健福祉研修 基礎研修(保健所・市町村職員研修)	8/2	1
精神保健福祉研修 実務研修(アウトリーチ支援研修)	6/19	1
東京都認定調査員新規研修	7/8	1

神奈川県主任介護支援専門員研修	9～12月(12日間)	1
東京認知症地域対応力向上研修	9/27	1
精神保健福祉研修(後期)	11/8	1
介護予防による地域づくり推進連絡会	11～2月(3日間)	1
認知症の人による社会参加活動推進フォーラム	2/7	1
住民主体の活動を育てるには	3/17	1
相談援助職の記録の書き方 ～訴訟と情報開示請求に備えて～	2/29	1

④ トーマツイノベーション

名 称 等	開催日程	人数
新入社員研修	4/3	3

⑤ 施設内研修

事業別に実施のため、各事業において記載。

(4) 防災関係

消防署の指導による消防訓練を下記のとおり実施した。

○消防訓練実績

回数	年 月 日	訓 練 内 容
1	平成31年4月24日	部分訓練、宿直者に対する通報訓練
2	令和元年5月17日	部分訓練、狛江消防署防火防災教育講習会
3	令和元年6月28日	部分訓練、通所介護事業避難訓練
4	令和元年7月31日	部分訓練、火災時の宿直に対する通報訓練
5	令和元年8月30日	部分訓練、自衛消防訓練審査会自主訓練
6	令和元年9月26日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練(夜間想定)
7	令和元年10月30日	消火訓練、岩戸町会合同震災訓練実施
8	令和元年11月28日	部分訓練、宿直者に対する夜間通報訓練
9	令和元年12月25日	部分訓練、2・3階のみの避難訓練(夜間想定)
10	令和2年1月30日	部分訓練、屋内消火栓操作訓練
11	令和2年2月27日	部分訓練、夜間想定訓練
12	令和2年3月25日	部分訓練、火災時の宿直の行動、設備の取り扱い

(5) 地域交流事業

1) 地域交流委員会

平成31年度の地域交流事業は、地域交流委員会が活動を休止していることから、委員会主催の地域交流事業は実施しなかった。

2) こまえ苑広報委員会・広報誌の発行など

今年度も、5月・8月・11月・1月という年間の発行計画に基づき発行することが

できた。年間を通してのテーマであった「地域とのふれあい」という視点による記事の作成により、こまえ苑と地域とのいろいろな交流を紹介することができ、多くの方々にご理解いただけたと思われる。各号とも、900部を発行し、こまえ苑利用者・家族、地域住民、ボランティア、関係機関等で見ていただくだけでなく、ホームページでも閲覧できるようにして情報発信を行った。

また、ホームページの充実については、広報委員会が中心となり日々の活動・行事の紹介等を更新することにより充実したホームページになった。

3) 施設行事へのボランティアの参加状況

区分	行事・活動名	招待者等	回数	参加人数		
				利用者	住民等	計
特養	納涼祭	利用者家族 ボランティア・民生委員 役員・評議員 岩戸はやし保存会	1	84	113	197
デイサービス	保育園児交流	小梅保育園（1回平均）	0	0	0	0
		駒井保育園（1回平均）	8	35	22	57
	納涼祭	きんたの会	1	35	13	48
		アロハオタッシュヤーズ	1	33	7	40
	敬老会	ブルームーン	1	33	4	37
		ドルチェ	1	40	5	45
	新年会	ブルームーン	1	31	6	37
		ムーンリバー	1	41	5	46

4) 実習生受入れ状況

学校・施設名	年月	人数 (1日)	日数	備考
人事院公務員研修	令和元年6月	3	5	特養 デイサービス
		3	2	
教員免許取得介護体験	令和元年9月	6	5	特養
	令和元年10月	3	5	
世田谷福祉専門学校	令和元年11月	2	12	特養
薬学部学生	平成31年4月	2～3	2	デイサービス
	令和元年10月			
喜多見中学校職場体験	令和元年9月	2	3	デイサービス
狛江第二中学校職場体験	令和2年2月	2	3	デイサービス

※上記以外にも、随時実習受け入れる場合がある。

5) ボランティア事業

平成31年度も前年度に引き続き、知識・経験とも豊富で、色々な形でバラエティーに富んだボランティアの方々の協力をいただきながら、各種の活動を展開した。ボランティア募集については、現在ボランティア活動をしてくださっている方に、知り合い等への声掛けや、交流会のお知らせにボランティア募集のチラシを同封したほか、法人や狛江市市民活動支援センターのホームページで募集記事を掲載した。

新規のボランティアは7人、家庭の事情等により一時休会された方は1人、退会した方は1人だった。

また、家庭の事情や自身の体調不良、新型コロナウイルス関連等の感染症対策によるボランティア活動の休止により、活動実績は前年度より減少したが、デイサービスの新規ボランティアが6人増えたこともあり、全体では前年度と同程度の活動実績となった。

①ボランティア交流会の開催

第1回 ボランティア勉強会（自分でできる健康体操！）

11月21日（木）13人参加

第2回 ボランティア新年会

2月18日（火）22人参加

②狛江市との連携

高齢者の生きがいづくりと支えあいの地域づくりの推進にむけて、狛江いきいき介護ボランティア（介護ボランティアポイント事業）の受け入れ

③狛江市市民活動支援センターとの連携

ボランティア募集記事の掲載依頼

夏体験ボランティア受け入れ

④ボランティア会議の開催

奇数月第3金曜日に実施

⑤ボランティア活動実績

令和2年3月31日現在(単位:人)

月	区分	洗濯	特養	デイ	喫茶	合計
4月		23	10	60	26	119
5月		19	10	51	27	107
6月		22	10	51	30	113
7月		22	9	66	24	121
8月		9	10	69	35	123
9月		18	10	62	31	121
10月		17	11	63	23	114
11月		16	9	55	31	111
12月		14	8	49	23	94
1月		14	4	53	25	96
2月		18	8	63	9	98
3月		8	6	45	0	59
合計		200	105	687	284	1,276
対前年度比 (%)		89.2%	86.7%	115.8%	83%	99.6%
30年度合計		224	121	593	342	1,280
29年度合計		235	130	628	326	1,319
28年度合計		287	143	694	360	1,484
27年度合計		301	135	723	309	1,468
26年度合計		359	226	823	239	1,647

注1：各講師ボラ、その他のボランティアは、関係部署へ加算

⑥その他

- ・岩戸、猪方、駒井町会のご好意により、町会報にボランティア募集記事を回覧していただいている。
- ・法人のホームページを活用し、ボランティア活動の様子や募集記事を掲載

4. 総務課

(1) 総務係

重点目標や目標に掲げた内容については、今年度も新卒者を採用できたこと、ホームページを随時更新したこと、各種助成金を活用し基盤整備を行い引き続き前進した年度となった。

1	目 標	法人の使命・経営の理念・ビジョン及び基本方針を理解し、これに基づいた業務基盤の整備・確立を目指す
	結 果	<ul style="list-style-type: none"> ① 将来の設備等の更新に備え計画通り施設・設備整備等積立金を2,633万円積立てることができた。 ② 過去の研修記録を再調査して、職員個々の研修派遣計画を立てることができた。 ③ 人材紹介会社等に頼らない人材採用活動を継続できた。また、1人の新卒者を採用し正規職員の離職率は1.5%に抑えることができた。 ④ 介護職員に対し、東京都の補助金を活用して新たに奨学金返済育成支援事業補助金1人、宿舎支援事業補助金1人が活用することができた。 ⑤ ホームページは日々更新し、より一層利用者家族や求職者から喜ばれるものになった。また、感染予防で面会制限をしているため利用者の日々の状況を動画で掲載、ショートステイの空き状況なども掲載した。 ⑥ TOKYO働きやすい福祉の職場宣言事業は全項目を申請せず、来年度人事考課を除外し申請していくことになった。 ⑦ 利用者に配慮し、特養利用者居室の壁紙及び業務用洗濯機・乾燥機の更新をおこなった。 ⑧ 10月から介護職員等特定処遇改善加算を取得し介護職員等の処遇改善をおこなった。
2	目 標	効率性・費用対効果を念頭においた課題検討と改善を目指す
	結 果	<ul style="list-style-type: none"> ① 使用していない介護保険システムを精査し必要としている部署へ提供することができた。 ② 給食委託業者の見直しをおこない経費節減につながった。 ③ 階層別研修に参加させるなど、職員個々のレベルアップにつなげた。また、自主研修制度により、介護福祉士資格を1人・社会福祉主事任用資格を1人が取得した。 ④ 食材納入業者の見直しを行い経費削減につなげた。 ⑤ ホームページを魅力あるものに変更及び採用を強化したため、求職者からの応募につながり職員の採用費用を抑えることができた。

(2) 栄養係

1	目 標	健康・栄養状態の維持向上
	結 果	栄養ケア・マネジメントの手順に従い、栄養スクリーニング、栄養アセスメントを行い、一人ひとりの摂食嚥下状態に合わせた食事内容、食事形態で提供した。栄養スクリーニング・モニタリング表を多職種で共有し、多角的視点で改善策を見出した。
2	目 標	食事を通して生きる喜びを感じることができるようにする
	結 果	献立は旬の食材を使い、できるだけその季節が感じられるように工夫した。食材の切り方や彩りを考慮し、見た目や食感に変化を持たせるように調理した。
3	目 標	衛生面・安全面の向上
	結 果	厨房内の衛生は、安全な食事を作るうえで最も大切なことであるため、食材の搬入、検品、仕込み、調理、盛り付け、配膳が、衛生的に行われるように努めた。
4	目 標	適正なコスト管理、在庫管理
	結 果	残菜・残食量を把握し、食材費、廃棄費用のコストの削減に努めた。
5	目 標	食事の要望や意見を取り入れ、満足度を向上させる。職員食稼働率を向上させる
	結 果	利用者食事懇談会等において、利用者の食事に関する様々な意見を聞き取り、献立や食事の提供時に反映させた。 食事時には、直接利用者の様子を見たり話を聞く事により、要望に対して迅速に対応することができた。
6	目 標	給食委員会の実施
	結 果	特養、デイサービスの分かれて開催し、給食の円滑な運営について話し合った。

1) 栄養の目標（栄養摂取基準）

利用者ごとに個別に設定した給与栄養目標量の平均値に安全率10%を考慮し、こまえ苑の給食栄養目標量とした。必要量に対し食物繊維の量が下回った。便秘改善の為に食物繊維が効果的にとれるよう改善を図っていきたい。

以下には、平成31年度の栄養摂取基準及び栄養出納の平均量を示す。

区分	エネルギー	蛋白質	脂質エネルギー比率	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維
単位	kcal	g	%	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
必要量	1,400	60.0	15~25	600	6.0	450	0.80	1.00	85	15.0
提供量	1,436	59.1	26.9	587	7.2	512	0.76	1.03	92	12.9

2) 個別の食事形態（特養入所者）

令和2年3月31日現在(単位:人)

学会分類		2013		食事形態は、主食・副食共に、できるだけ日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013に基づき、利用者の摂食嚥下状態のレベルに応じて安全で美味しく食べられるように実施した。嚥下調整食3では、形はあるが押しつぶしが容易で食塊形成や移送が容易、咽頭でばらけず、嚥下しやすいように配慮されたもので、多量の離水がない形態である。介護現場と厨房で共通認識をして安全で美味しい食事を提供していきたい。
主食	常食	-	19	
	おにぎり		1	
	軟飯	コード4	15	
	おにぎり		1	
	パン		2	
	全粥	コード3	28	
	全粥粒ゼリー	コード2-2	4	
	ミキサー粥	コード2-1	4	
	重湯		1	
	パン粥		1	
	胃瘻栄養		2	
合計		78		
副食	常食	-	17	
	軟菜一口大食	コード4	11	
	押しつぶし食	コード3	26	
	ソフト食	コード2-2	16	
	ペースト食	コード2-1	6	
	胃瘻栄養		2	
	合計		78	

3) 療養食の提供（特養入所者）

(単位:人)

糖尿食	7	医師の食事箋に基づき、利用者の持病が悪化しないように16人の利用者に療養食を提供した。 しかし、高齢者であることから厳しい制限食にならないように配慮し、現状が維持できるように療養食を提供した。
腎臓食	4	
心臓食	4	
脂質異常症食	0	
肝臓食	1	
貧血食	0	
合計	16	

4) 経口維持加算取得状況

医師、歯科医師、歯科衛生士、看護職員、介護職員、介護支援専門員、管理栄養士が協働で利用者に対する摂食・嚥下支援を行い、月1回の会議を開催し、経口維持加算の申請を行った。

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27	27	25	27	25	24	24	22	23	21	19	20	284

5. 特別養護老人ホーム（ショートステイ含む）

平成31年度の施設サービス課は、退所者22人、入所者23人で前年度の退苑者から比べると、退苑者が4人ほど増えており、年々増加の一途をたどっています。新規入所までの期間は、事前の入所検討委員会で3人確保している成果がでて、短期間で入所へ繋がっています。

ショートステイについては、軽度医療を必要とする方の受け入れや関係機関等へ宣伝、キャンセル時の空床や特養の空床利用等に対応し、稼働率アップに努め、前年度の86.5%から94.6%と上昇しています。今年度から2人部屋から個室に変更し対応した結果も功を奏しています。特養とショートの合算も昨年の96%から96.8%とアップしています。

感染症に関しては、一昨年のインフルエンザが流行した教訓をいかし、例年通りの面会制限やうがい・手洗い・マスク着用の徹底、入室前の体温測定などを実施し、インフルエンザの発症者はいませんでした。しかし、ノロウイルスが利用者2人発症し、そのケアに関わったと思われる職員が4人発症しました。また同時期に水疱瘡の利用者が1人発症し本人や同室者の隔離対応を実施しました。嘱託医の治療や職員の感染拡大防止により、ノロウイルスや水疱瘡の感染を最小限に抑えられたことは、全職員の努力の成果だと思えます。

看取り介護も2年目に入り、昨年12人に比べて18人と予想をはるかに超える数字であるが、嘱託医の24時間対応により救急搬送が激減、入院者数も34人から19人と激減し、安定したケアが継続できるようになっています。今後もより一層、喜ばれ、選ばれ、信頼できるこまえ苑を目指していきます。

（1）重点目標

全職種共通

目標1	「看取り」「たんの吸引」を定着させるための体制づくり
評価	<p>① 看取り介護について継続できている。今年度は18人の看取り介護対象者の看取りを行った。個々の事案の振り返りも実施している。しかしご逝去される方が多く、すべての方の振り返りはできなかった。</p> <p>② たんの吸引について今年度は4人の職員が加わり、認定職員は14人となった。たんの吸引についての同意を全利用者から頂くようにしタイムラグのないよう実施出来つつある。</p>
目標2	職員体制の充実により、安定して質の高い介護が提供できる体制づくり
評価	<p>① 職員研修について、新規採用者対象のOJTは良好だった。現任職員は初任者研修、認知症研修、たんの吸引研修という形で実施。また、マニュアル作成や看取り、実習など個々の役割における研修も担当が参加し、現場に活かすことが出来た。</p> <p>② 研修参加におけるフィードバックは看取り研修のみとなった。定期的な職員内部研修などで報告の機会を設けていきたい。</p> <p>③ 感染症対策の研修は年2回（10月、3月）に実施できた。</p> <p>④ 認知症の理解について、認知症実践者研修（2人）、基礎研修（2人）への参加ができた。</p> <p>⑤ たんの吸引等の研修（4人）への参加ができた。</p> <p>⑥ 担当が研修に参加でき、ケアマニュアル作成に着手でき、ある程度の整備はできたが、チェックや見直しまではできなかったため、来年度に力を入れていく。</p> <p>⑦ 褥瘡予防、口腔ケアの支援の継続は行っている。褥瘡予防に関しては月1回の会議の中で報告している。褥瘡に関する研修も行っている。口腔ケアに</p>

	<p>ついては、一人当たり年2回の口腔ケア指導を行いつつ実施している。</p> <p>⑧ 年度初めの課長との面談時に目標の設定を行い、毎月の会議を行っている。会議後にフロアへの周知と実行が出来ている。</p> <p>⑨ 会議時間を原則30分、業務内時間内で実施する事が出来た。時間に対する意識改革は行うことができた。</p> <p>⑩ 7月より業務の一部としてシフトに組み込み実施（1時間）することができた。意見を出し合い解決していくという流れは確立できた。</p> <p>⑪ 指導力アップに向けた方法として、マニュアルに関する研修へ参加している。複数の職員によるチームを作り指導する体制を整えていきたい。</p>
目標3	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
評価	<p>① 在宅で実施している医療的ケアについて、胃ろう（3人）インシュリン注射（1人）在宅酸素療法（主に看取り介護で使用）を実施している。内部研修として在宅酸素療法の研修を実施し理解を深めた。</p> <p>② 運転できる職員の配置について、シフト作成時に配慮しているが全ての日程で配置はできなかった。運転の出来る職員の増員が不可欠となっている。</p>
目標4	支援を継続できるための意識を改革していく
評価	<p>① 利用者担当が定期的に環境整理整頓をおこなっている。</p> <p>② 設備や備品管理について、業務に組み込み各担当が意識し実施する事ができた。</p> <p>③ 共用部分の整理整頓についても、業務に組み込み実施することができた。</p> <p>④ 車椅子の点検について週1回の定期的な確認は定着している。</p> <p>⑤ 設備、備品の精査について課長へ報告する流れができ、修理等につながっている。</p> <p>⑥ 利用者担当の役割の明確化は行えている。年度初めと終わりの課長との面談による評価という形ができている。</p> <p>⑦ ケアの質等の効率化について、フロアでカンファレンスを実施し問題点などを抽出し、解決している。解決に至らないものは継続してカンファレンスを実施している。</p>

ショートステイ

目標	医療的ケアや送迎の必要な方の受け入れ態勢を整える
評価	<p>① 土曜日の送迎付きの入退苑は22人に実施することが出来た。また、多床室1床を個室2床に変更したことにより、利用延べ人数が増え、稼働率向上の要因となった。</p> <p>② 在宅酸素療法について、看護師が介護職員全員に勉強会を実施した。</p>
目標	支援を継続できるための意識を改革していく
評価	<p>① 施設入所前提でのミドルステイ利用について、5人の利用者に対応することが出来た。</p> <p>② 余暇活動は特養の活動と一緒にしている状況に変化はない。所持品の返却忘れをゼロにするために所持品一覧表を簡略化した。</p>

医務

目標 1	看取りが出来る体制を整える
評価	今年度の看取りの件数は 18 件であった。予想を上回る数の看取りを経験し、施設で最後を迎えることが特別なことではなくなってきた。家族からの言葉も温かく、職員への励みになっている。誰もが取り組めるよう今後も職員をサポートし、看取りに取り組んでいく。
目標 2	介護職員による痰の吸引等の取得資格者を増やし、夜間の緊急時における痰吸引が出来る体制を図る
評価	夜間、吸引ができることで痰がらみによる呼吸困難の心配がなくなった。吸引後も記録し、看護師に報告されており事故なくできている。来年度も積極的に研修に取り組み、資格を修得していく。

(2) 年齢別内訳

令和 2 年 3 月 31 日現在 (単位: 人)

区分	男	女	計	構成比 (%)
64 歳以下				
65～69 歳	1	1	2	2.6
70～74 歳	3	1	4	5.2
75～79 歳	2	6	8	10.3
80～84 歳	3	11	14	17.9
85～89 歳	6	14	20	25.6
90～94 歳	3	18	21	26.9
95～99 歳	1	8	9	11.5
100 歳以上				
合計	19	59	78	100.0
最高年齢	95 歳	99 歳		
最低年齢	68 歳	67 歳		
平均年齢	83.2 歳	87.3 歳	86.3 歳	

(3) 在苑期間の状況

令和 2 年 3 月 31 日現在 (単位: 人)

区分	男	女	計	構成比 (%)
～ 1 年未満	6	13	19	24.4
1 年以上～ 2 年未満	2	10	12	15.4
2 年以上～ 3 年未満		8	8	10.3
3 年以上～ 4 年未満	3	5	8	10.3
4 年以上～ 5 年未満	4	8	12	15.4
5 年以上～ 6 年未満	1	2	3	3.8
6 年以上～ 7 年未満	1	4	5	6.4
7 年以上～ 8 年未満	1	2	3	3.8
8 年以上～ 9 年未満		3	3	3.8
9 年以上～ 10 年未満				
10 年以上	1	4	5	6.4
合計	19	59	78	100.0

(4) 退所者の状況

平成 31 年度

性別	年齢	退所年月日	在苑期間		退所理由
			年	月	
女	102	H31. 4. 3	2年	9ヵ月	死亡
女	89	R元. 5. 25	5年	10ヵ月	死亡
女	93	R元. 7. 6	9年	10ヵ月	死亡
女	97	R元. 8. 22	13年	3ヵ月	死亡
男	91	R元. 10. 1	1年	3ヵ月	医療機関入院
女	89	R元. 10. 6	1年	5ヵ月	死亡
女	90	R元. 10. 11	1年	2ヵ月	死亡
女	89	R元. 11. 5	6年	5ヵ月	死亡
男	90	R元. 11. 8	2年	7ヵ月	死亡
女	92	R元. 11. 9	3年	10ヵ月	死亡
男	83	R元. 11. 21	1年	7ヵ月	死亡
男	80	R元. 12. 23	3年	7ヵ月	死亡
女	85	R元. 12. 24		4ヵ月	死亡
女	98	R 2. 1. 3	5年	11ヵ月	死亡
女	88	R 2. 1. 23	6年	3ヵ月	死亡
女	98	R 2. 1. 31	5年	9ヵ月	死亡
女	79	R 2. 2. 17		2ヵ月	死亡
男	85	R 2. 2. 25	20年	3ヵ月	死亡
女	82	R 2. 3. 2		9ヵ月	死亡
女	86	R 2. 3. 9	5年	11ヵ月	死亡
女	78	R 2. 3. 20		11ヵ月	死亡
男	80	R 2. 3. 26	4年	3ヵ月	死亡

*内訳 死亡による退所 21人(男5、女16)
 医療機関に入院 1人(男1)
 老人保健施設入所 0人
 合計 22人(男6、女16)

(5) ADLの状況

1) 要介護度分布

令和2年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男			6	9	4	19
女	2		14	20	23	59
計	2		20	29	27	78
構成比(%)	2.6		25.6	37.2	34.6	100.0

2) ADL（日常生活動作）の状況

区分	J	A	B	C	合計
人数	1	17	43	17	78
構成比 (%)	1.3	21.8	55.1	21.8	100.0

注：分類の基準「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する。
ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。
ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが、座位を保つ。
ランク C	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。

3) 認知症の程度

区分	自立	I	II	III	IV	M	合計
人数	1	2	15	31	27	2	78
構成比 (%)	1.3	2.6	19.2	39.7	34.6	2.6	100.0

注：分類の基準「認知症高齢者の日常生活自立度」

I	何らかの認知障害を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や、意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

(6) 利用者の日常生活

1) 行事实施状況

開催月日	行事名	内容等
3月25日(水) 3月28日(土) 3月29日(日)	お花見	感染症対応により外出を断念、ベランダから桜を見る形での開催となる。左記日程で計画も開花予想が早まり、日々時間を作ったの対応となった。満開時は天気が悪く満足いく提供ができなかった。
7月20日(土)	納涼祭	開催日見直しも検討されたが、例年通り7月の開催となった。曇天にて、一時小雨はあったものの、進行に影響はなく、結果的に過ごしやすい気温となった。獅子舞、盆踊り、花火に加え、協力医のトーククリニックによる演芸(ジャグリングショー)も加わり好評を得た。

9月16日(月)	敬老会	祝い膳を楽しんだ後、ふれあいホールにてお祝い会。ハワイアンバンド(野川アンサンブル)による歌や踊りが披露された。
12月25日(水)	年忘れクリスマス会	行事食はクリスマスメニュー。アトラクションでは職員によるかくし芸(マジックショー、ギター演奏、南京玉簾、2人羽織、妖怪ウォッチ体操)が披露され、クリスマスソングを皆で合唱し楽しんだ。
1月1日(水)	初詣	初詣は慶元寺へ。昼食はおせち料理で新春のお祝いをした。
1月8日(水)	もちつき大会	ふれあいホールにて臼や杵を用いてもちつきを行った。
2月3日(月)	豆まき	感染症対応により今年度は中止となった。
3月3日(火)	ひな祭り	2階、3階ごとにひな人形を飾り、職員と一緒に春にちなんだ歌を合唱した。(感染症対応の為各フロアにて実施)

2) クラブ実施状況

クラブ名	活動日		活動内容
生花	第2・4金曜日	午前10時20分～11時20分	生花
歌の集い	不定期日曜 月一回	午前14時00分～15時00分	童謡、唱歌、なつメロ
民謡	第2火曜日	午前10時20分～11時20分	民謡

3) 音楽療法

○活動日～ 毎週木曜日 午前10時20分～11時20分

○活動内容～ 音楽・歌・リズムを通して心身の活性化

延参加利用者数

(単位：人)

月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数	
4月	191	8月	160	12月	164	
5月	186	9月	184	1月	148	
6月	195	10月	161	2月	103	年間合計
7月	163	11月	152	3月	149	1,956

4) 散歩・買物・ビデオ上映・カラオケ

買い物に関しては、引き続きネットスーパーを利用している。問題なく実施できている。日曜日に苑周辺の散歩を実施。また、散歩に行けない日曜日には各フロアでDVD上映会やカラオケ大会を開いた。

5) 個別外出の実施

個人の要望に沿って外出先を選定し、ご本人の趣味などを楽しまれた。

6) 理美容実施状況

①理容

○実施日…毎月1回第4月曜日(原則)

○費用……2,200円(散髪のみ)・1,200円(顔剃りのみ)・2,700円(セット)

○協力……東京都理容環境衛生同業組合 武蔵調布支部（毎回3～4人）

○月別実施人数（特養利用者）

月	人数	年 月	人数
4月	15	11月	17
5月	15	12月	17
6月	13	1月	22
7月	19	2月	14
8月	12	3月	14
9月	19	合計	192
10月	15	月平均	16

②美容

○実施日…偶数月1回第3水曜日（原則）

○費用……2,750円（カット）・8,800円（パーマ、マニキュア）

○協力……ディチャーム株式会社（毎回3～4人）

○月別実施人数（特養利用者）

月	人数（人）	月	人数（人）
4月	31（パーマ等4）	10月	30（パーマ等4）
5月	26（パーマ等2）	11月	26（パーマ等2）
6月	33（パーマ等4）	12月	34（パーマ等3）
7月	32（パーマ等2）	1月	22（パーマ等1）
8月	35（パーマ等4）	2月	28（パーマ等3）
9月	26（パーマ等0）	3月	26（パーマ等1）
合計	349（パーマ等30）		
平均	29.1		

（7）家族との連携

1）行事関係：納涼祭への参加（7月）

2）利用者家族懇談会への参加（9月）

①9月は感染症対策及びインフルエンザ予防接種及び肺炎球菌ワクチン接種、衣類訪問販売、料金改定、意向確認について説明を行った。

②納涼祭開催時期について、意見交換を行った。

③3月は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施を延期した。

3）日々の生活状況を個別に報告することや直接、要望や不満を聞くことができる貴重な時間である。

（8）医療と看護

利用者の健康管理とともに、安全で快適な日常生活が送れるよう看護サービスの充実に努めた。

1）入苑時健康管理

①入苑後の内科嘱託医による診察を実施。

②入苑日より3日間は、バイタルチェックを行い、利用者の健康レベルの把握を行っている。

2）利用者健康診断と歯科健診

①6月に利用者全員対象に健康診断を実施した。利用者の健康状態をおおむね把握

でき、健康管理に役立てることができた。

② 8月に歯科医師会による歯科健診が実施された。また、歯科医師往診により通院が困難な利用者の歯科治療を行っている。

3) 感染症に対する取り組み

感染症に対しては、手洗い・うがいの徹底を基本としている。

《インフルエンザ》

① 12月から面会制限・特養関係者全員の検温・マスクの着用・手洗いを徹底しインフルエンザ感染者をゼロに押さえることが出来た。手すりやテーブルのアルコール消毒などに努めたことも、感染の予防につながった。

② 利用者全員の予防接種を実施、研修による職員の意識向上に努めた。

《ノロウイルス及び感染性胃腸炎・疥癬》

(ア) 今年度は、2人発症し職員への感染もみられた。研修を行ったことで、発症後の個室隔離など感染対応にすばやく取り組み、感染を最小限にすることができた。

(イ) 介癬の感染者はいなかった。

4) 肺炎球菌ワクチンの接種について

① 今年度は19人が肺炎球菌ワクチン接種を受けられた。

5) 嘱託医による施設内の診察状況（別表参照）

6) 他の医療機関による診療状況（別表参照）

8) 入院医療機関の利用状況

(単位：人)

病院名	延人員	
慈恵医科大学付属第三病院	1	
日産厚生会玉川病院	12	
至誠会第二病院		(1)
関東中央病院	1	
合計	14	(1)

9) 入退院の状況

(単位：人)

入院期間	1～30日	31～60日	61～90日	91日以上	合計
入院者実数	8	3	3		14

注：入院医療機関延人数と入院期間実数は転院を含むため一致しない

(9) リハビリテーションとマッサージ

1) マッサージ・ROM訓練及び日常のリハビリについて

月曜日から金曜日まで、機能訓練指導員において、マッサージ及び可動域訓練などを行っている。すぐに効果がある場合、効果が見えるまで時間がかかる場合など、いろいろである。

2) リハビリテーションについて

作業療法士(OT)が、個別リハビリを月曜日に行っている。なお、集団体操は、機能訓練指導員との連携のうえ水曜日にリハビリ担当が中心になり実施し、より多くの利用者にリハビリの機会を設けている。

3) 個別機能訓練実施計画書について

個々のニーズに則した計画をどのようにより効率的に実施していくか、また、変化に即した計画の変更が今後の課題である。

<リハビリ・マッサージ実施延人数>

平成 31 年度 (単位：人)

月	集団 2 階	集団 3 階	ショートステイ	個別	マッサージ
4 月	42	31	2	53	323
5 月	37	35	2	52	298
6 月	15	24	5	51	303
7 月	36	33	6	67	355
8 月	26	21	4	53	296
9 月	16	26	2	39	264
10 月	23	37	6	48	336
11 月	27	25	3	45	318
12 月	25	17	1	38	244
1 月	13		1		288
2 月					227
3 月	36	28	1		360
総計	296	262	33	446	3,612

嘱託医による施設内の診察状況(平成31年度)

(単位:人)

区分 月	内科		精神科		整形外科		皮膚科		歯科往診		合計	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
4月	79	143	11	11	0	0	20	20	0	0	110	174
5月	79	155	12	12	0	0	20	20	0	0	111	187
6月	79	190	12	12	0	0	20	20	0	0	111	222
7月	74	188	12	12	0	0	14	14	3	3	103	217
8月	79	141	11	11	0	0	15	15	0	0	105	167
9月	74	165	11	11	0	0	15	15	0	0	100	191
10月	78	178	12	12	0	0	10	10	4	5	104	205
11月	78	146	11	11	0	0	12	12	5	7	106	176
12月	79	155	11	11	0	0	8	8	0	0	98	174
1月	77	162	11	11	0	0	12	12	1	1	101	186
2月	79	145	12	12	0	0	11	11	0	0	102	168
3月	77	192	10	10	0	0	11	11	0	0	98	213
合計	932	1,960	136	136	0	0	168	168	13	16	1,249	2,280

他の医療機関による診療状況(平成31年度)

(単位:人)

区分 月	内科		外科		整形外科		耳鼻咽喉科		皮膚科		脳外科		婦人科		泌尿器科		精神科		眼科		歯科		合計		救急車による搬送		
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
4月	5	5	1	2	3	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	17	18	0	0	
5月	7	7	0	0	5	5	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	0	0	
6月	5	5	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	9	9	1	1	
7月	4	4	1	2	5	6	1	1	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	19	21	1	1	
8月	4	4	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8	2	2	
9月	4	4	1	1	5	6	1	1	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	15	16	1	1	
10月	1	1	2	2	1	1	1	1	2	3	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	9	10	1	1	
11月	1	1	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	2	2	
12月	4	4	1	1	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	2	2	
1月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	
2月	4	4	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	7	7	0	0	
3月	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	4	7	2	2	
合計	40	41	7	9	34	37	4	4	9	10	5	5	1	1	3	3	1	1	12	14	1	1	117	126	12	12	

特別養護老人ホーム・ショートステイ(88床)合算 事業実績

稼働率目標値:98%

延利用日数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	152	161	166	479	145	148	144	437	916
要介護 2	65	75	81	221	56	56	53	165	386
要介護 3	689	719	729	2,137	748	713	699	2,160	4,297
要介護 4	855	911	845	2,611	909	913	877	2,699	5,310
要介護 5	757	767	758	2,282	775	809	758	2,342	4,624
特養+SS計	2,518	2,633	2,579	7,730	2,633	2,639	2,531	7,803	15,533
月間定員(日数×88)	2,640	2,728	2,640	8,008	2,728	2,728	2,640	8,096	16,104
稼働率(88床)	95.4%	96.5%	97.7%	96.5%	96.5%	96.7%	95.9%	96.4%	96.5%

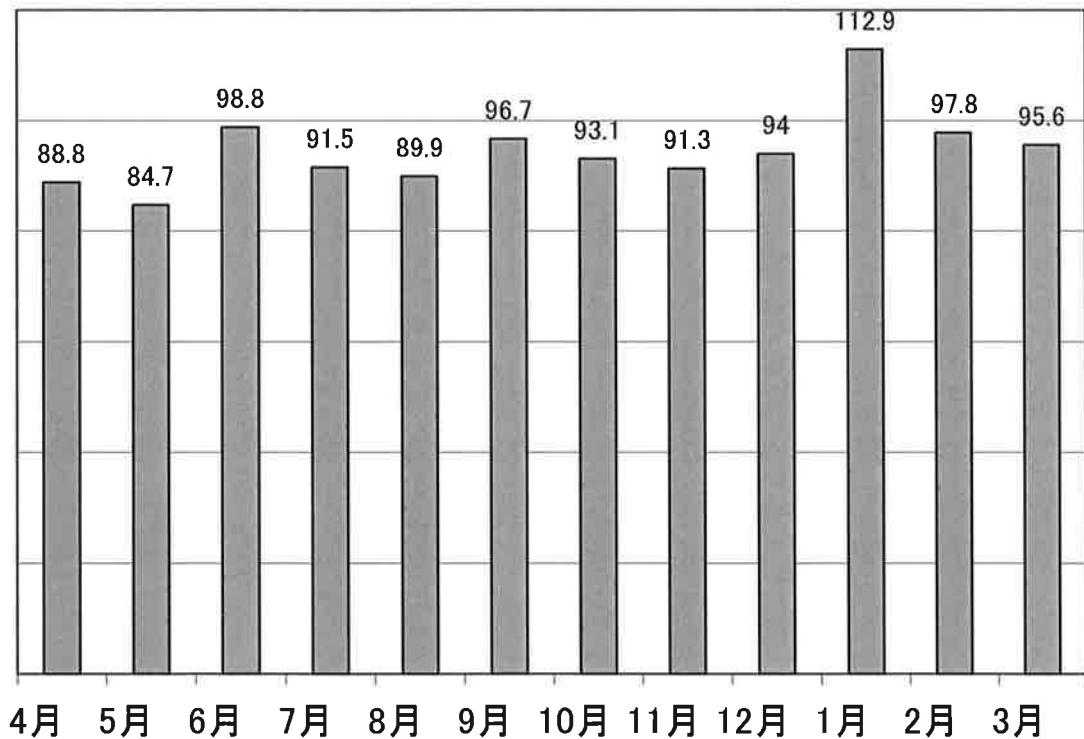
25

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	123	118	119	360	84	76	93	253	613	1,529
要介護 2	71	70	35	176	73	75	45	193	369	755
要介護 3	775	700	722	2,197	727	614	681	2,022	4,219	8,516
要介護 4	868	868	880	2,616	878	901	938	2,717	5,333	10,643
要介護 5	836	792	926	2,554	886	799	877	2,562	5,116	9,740
特養+SS計	2,673	2,548	2,682	7,903	2,648	2,465	2,634	7,747	15,650	31,183
月間定員(日数×88)	2,728	2,640	2,728	8,096	2,728	2,552	2,728	8,008	16,104	32,208
稼働率(88床)	98.0%	96.5%	98.3%	97.6%	97.1%	96.6%	96.6%	96.7%	97.2%	96.8%

ショートステイ 利用定員8人

区分 月	実利用者数(人)			延利用者日数(日)			実施日数 (日)	1日平均 利用者数(人)	摘要
	男	女	計	男	女	計			
4月	6	27	33	43	170	213	30	7.1	
5月	5	23	28	33	177	210	31	6.8	
6月	6	24	30	42	195	237	30	7.9	
7月	6	22	28	46	181	227	31	7.3	
8月	6	18	24	54	169	223	31	7.2	
9月	8	24	32	74	158	232	30	7.7	
10月	14	26	40	83	148	231	31	7.5	
11月	14	22	36	87	132	219	30	7.3	
12月	12	22	34	86	147	233	31	7.5	
1月	13	25	38	89	191	280	31	9.0	
2月	10	19	29	67	160	227	29	7.8	
3月	10	24	34	58	179	237	31	7.6	
合計	110	276	386	762	2,007	2,769	366	7.6	
前年度比%	152.8	103.4	113.9	123.7	105.1	109.7	100.3	109.5	
30年度計	72	267	339	616	1,909	2,525	365	6.9	
29年度計	78	237	315	660	1,761	2,421	365	6.6	
28年度計	122	253	375	766	1,970	2,736	365	7.5	

ショートステイ稼働率(特養空きベッド利用含む)(%)



6. 高齢者デイサービスセンター

「日常生活支援総合事業」においては、1日5人の定員枠は空きが無い状態となり、要介護認定から要支援認定となった方が継続利用できるよう7人定員とし、その結果、認定結果に不安な思いをせず、継続して利用ができるようになりました。

通所介護においては、稼働率70%を切る結果となったが1日の登録数は35名に近づいています。70%を切った原因は新型コロナウイルス感染症予防による欠席者が多くあったためです。

認知症対応型通所介護においては、10人から12人の定員とするも、入所での終了者割合が高く、稼働率の改善を図ることはできませんでした。重度認知症のある方の受け入れを行いながら、地域ニーズの窓口としての働きを継続していきます。また、フロアの整備を行い、基本グループの利用者が足を運ぶなど利用者間のコミュニケーションが確立できています。

1	目標	サービス内容の充実を図る																								
	結果	<p>① 入浴サービスの年間延べ人数では、前年度2,174人に対して今年度2,510人であった。</p> <p>② 講師ボランティアも新しい方に来ていただき、利用者の活性化に働きかけることができている。また、職員が講師役となった形での手芸を行うなど、職員側の工夫ができている。</p> <p>③ 今年度も9～2月に口腔ケア講習会を開催し、また日々の昼食前の口腔体操も継続実施できた。</p>																								
2	目標	職員の働きがいのある職場を目指す																								
	結果	<p>① 毎月行う職員会議にて職員が講師となりミニ研修を開催。多様な技量を身に付けることができている。また、講師となった職員自身も勉強の場となった。</p> <p>② 制度改正や通所介護事業所としての方向性、地域において求められる役割など、職員会議において確認できるような機会を設けた。</p>																								
3	目標	収入の確保																								
	結果	<p>① 新規利用調整に関しては、見学調整から利用開始に係る期間を、利用者の都合を考慮しながら短縮することができている。月平均5人ほどの見学対応を実施。また、毎月居宅支援事業所を訪問し、新規依頼への効果が伺える。</p> <p>② 利用者数の数値目標（稼働率）に関しては、目標値達成できなかったが、努力を惜しまず調整に励んだ。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>日平均利用数</th> <th>利用開始数</th> <th>利用終了数</th> <th>延べ欠席数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><基本></td> <td>23.8人</td> <td>39人</td> <td>27人</td> <td>1,577人</td> </tr> <tr> <td><総合事業></td> <td>4.6人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> <td>147人</td> </tr> <tr> <td><基本+総合事業></td> <td>28.4人</td> <td>45人</td> <td>34人</td> <td>1,724人</td> </tr> <tr> <td><認知症対応型></td> <td>5.0人</td> <td>7人</td> <td>11人</td> <td>539人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 「ADL維持等加算」取得に関しては、算定要件に当てはまらず加算取得不可となる。引き続き点検を行っていく。</p>	事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数	<基本>	23.8人	39人	27人	1,577人	<総合事業>	4.6人	6人	7人	147人	<基本+総合事業>	28.4人	45人	34人	1,724人	<認知症対応型>	5.0人	7人	11人
事業	日平均利用数	利用開始数	利用終了数	延べ欠席数																						
<基本>	23.8人	39人	27人	1,577人																						
<総合事業>	4.6人	6人	7人	147人																						
<基本+総合事業>	28.4人	45人	34人	1,724人																						
<認知症対応型>	5.0人	7人	11人	539人																						

(1) 事業活動状況

1) 通所介護、総合事業での活動

<活動メニュー>

書道・工作・カラオケ・頭の体操・手工芸・体操・レクリエーションゲーム・甘酒作り・外部ボランティアによる各種演芸の鑑賞等

<評価と課題>

活動の種類は大きく二つに分け、身体全体や手先を動かすものと、頭を使うクイズ形式などのものを取り入れ、個人の趣向やその日の体調を見ながら計画・実施している。ADLの低下や認知症などで意思表示が難しい場合は、家族の意向を聞き取りつつ、その方にとってより良い活動への参加を促している。

総合事業は、比較的自立度の高い高齢者であるため、活動の中でもお手本となったり、他の利用者に手を差し延べてくださったりと、高い意識をもって参加されている。

自主的に行う趣味活動を通して他者との社会交流が図れる方もおり、麻雀・将棋・囲碁・オセロなどは、利用者自ら準備をして対局するなど定着している。

2) 認知症対応型通所介護での活動

認知症特有の症状がある高齢者を対象に、明るくゆったりとした環境をつくり、情緒の安定と心身機能の維持・向上を目的とした援助に努めた。

<評価と課題>

明るくゆったりと過ごせ、お互いの顔が見え、会話ができる室内環境へ整備する。その結果利用者間のコミュニケーションの時間が増え、会話も多く聞かれるようになった。また、手作業も多く取り入れ、集中して行う時間が増えている。

3) 入浴

利用者の健康状態に合わせ、特殊浴槽・一般浴槽での柔軟な対応を行っている。希望される利用者に週1回の入浴日を設け、認知症対応型通所介護の利用者については、一定の条件を満たした場合週2回の入浴としている。

また、入浴サービス開始時及び1年ごとに、主治医からの身体状況に関する情報を提出していただき、健康チェック・感染症予防や急変防止に努めた。

<評価と課題>

平成31年度より1日10人の定員設定から1日15人の定員設定に変更し、入浴希望のある方の受け入れも多くなるようになった。

4) 食事

食事形態の変更や自助食器の提供などの個別対応を行い、ソフト食も含め身体状況に合わせた特殊調理を施した食事の提供も行っている。

誕生会のある週には、特別感のあるケーキ、行事ではテーマに合わせた食事やおやつを提供している。

また、季節ごとに旬の食材を使った食事の提供も行っているほか、赤飯・おこわ・日本各地の郷土料理をそれぞれ提供している。

<評価と課題>

多くの利用者には好評であるが、利用者の嗜好による細かな要望についてどこまで対応できるのか、管理栄養士とも相談しながら対応している。

5) 健康増進・健康チェック、機能減退防止

利用者の高齢化や、独居又は高齢者のみ世帯の利用者が増えている。それに伴い医療行為を必要とする利用者も多くなってきている。今後も医療知識等を高めながら、多様な状況に対応していく。

<評価と課題>

利用者の情報収集を行い、バイタル測定や利用者の状態観察をし、健康管理に留意している。

健康状態を把握するためにも、利用者家族、関係職種・事業所等との連絡を行い、利用中の健康管理や異常の早期発見に努めている。デイサービスで行える医療行為に関しては限定的となるが、専門職としてのアドバイスを利用者や家族に

行っている。(インスリン自己注射4人 血糖値測定4人 尿パック4人 人工肛門3人 浣腸2人)

6) 送迎

デイサービス及び一部のショートステイの利用者に自宅までの送迎を実施している。利用者の状況に応じて時間やルート細かい変更や介助方法の調整など、可能な限り個別ニーズに沿ったサービスを提供している。

一方で、利用者各戸の状況には、急な階段や狭い場所での段差などさまざまな厳しい環境もある。利用者職員双方の安全確保を第一に、関係機関と協議しつつ対応している。

<評価と課題>

狛江市の北側エリアに居住している方や、送迎時間に指定のある方などが増えているが、できる限り対応を行い効率的な運行経路をとっている。専任の運転手以外にワゴン車両を運転できる職員が少ないため、急な対応については総務係の協力を得ている。

7) デイサービスでの1日

9:00～	利用者到着・健康チェック・水分補給
10:30～	朝の会・活動
12:15～	昼食
13:00～	コーヒータイトム・談話
14:00～	活動
15:15～	おやつ・水分補給
16:10～	1便出発・第三活動

(2) 講師によるクラブ活動

1) 音楽療法

実施日 : 3回/月

活動内容: 歌唱、楽器演奏、音楽ゲームなどのプログラムを通して、情緒の開放、自己表現、他者との交流などを目的としたリハビリ

2) 書道

実施日 : 4回/月 (不定期)

活動内容: 季節や個々に合わせたお手本を用意し行った。

3) 脳いきいきアート

実施日 : 1回/2ヵ月

活動内容: 平面や立体を自由に創作。さまざまなものを作成した。

<評価と課題>

専門的知識をもつ講師による指導であることから、認知症グループも合同で実施し、できるだけ多くの利用者にその機会が巡るよう日程も調整している。

特に書道は、普段の生活の中では行う機会がないため、参加者は大変楽しみにしており人気の高いプログラムである。作品の掲示をすることにより意欲の向上を図っている。また、作品を持ち帰ることにより、家族にも喜ばれている。

行事実施状況

	行事名	内 容
7月	納涼祭	2日間を通し午前中に職員主催によるスイカ割り大会、盆踊りを今年度も実施した。また、昼休みに輪投げ、くじ引きなどの縁日的余興も行った。午後は演芸ボランティアとして①きんたの会②アロハオタッシュヤーズの方々にご披露いただいた。 昼食は松花堂弁当を提供した。飲み物は、りんごジュース、オレンジジュース、冷たいお茶、ノンアルコールビールを提供し、利用者に好きな飲み物を選んでもらった。
9月	敬老会	2日間で実施。演芸ボランティアは①ブルームーン②ドルチェの方々にご披露いただいた。 その他祝い膳として松花堂弁当、納涼祭に続きジュース等の飲み物を提供した。今年のお祝い品は「卓上バッグインバッグ」をお贈りした。
1月	新年会	2日間で実施。演芸ボランティアとして①ブルームーン②ムーンリバーの方々にご披露戴いた。 昼食は、赤飯、天ぷら、お刺身、おせち盛り合わせなど新年にふさわしいものを提供した。

<評価と課題>

どの行事も、演芸ボランティアの力をお借りし、大変好評をいただいている。食事でも普段と違う豪華なものが出ることで、とても楽しみにされている方も多く見られた。

演芸ボランティアに関して、同じ団体にお問い合わせすることが多く、新たな団体の開拓も行っていく。

(3) 家族懇談会

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	令和元年6月15日(土)	令和元年11月23日(土)
参加家族数	12人	12人
主な内容	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ	①苑長挨拶・職員自己紹介 ②グループに分かれて、懇談会 ③こまえ苑からのお知らせ

<評価と課題>

今年度の家族懇談会は両日共に天候が悪く、予定していた人数より少ない人数での開催となった。

第1回・2回共にテーマごとにグループ分けを行い、意見交換をして頂いた。

家族の方には事前にテーマをお伝えし、どのテーマでの懇談を希望されるか確認し人数の振り分けをおこなった。当日、欠席などの変更があったため、調整等行う。テーマ別での懇談については、家族より同じ悩みを持つ家族と話せて良かったと多数の意見を得た。グループの人数配分も丁度良い人数だとの意見もあり好評を得た。家族が日頃抱えている介護の悩みや不安を話し合った。話し合いはとても好評で、小グループ内での意見交換で解決策を話し合い、日頃の悩みを話す事ができたと大変有意義な会合となった。

今後も、家族と職員の関係性をより密にできるよう、また家族同士の繋がりができることで地域連携に繋がっていくことを期待しながら、重要な地域貢献活動の一つであることを意識しつつ継続していきたい。

(4) 運営推進会議（認知症対応型通所介護）

<開催状況>

	第1回	第2回
開催日	令和元年11月27日（水）	令和2年3月11日（水）
出席者	利用者、家族、地域の代表者、当サービス知見者、自治体職員、地域包括支援センター職員、事業所代表者、事業所管理者	
主な内容	①サービス提供内容について ②利用者数等の事業実績について ③その他意見交換	

<評価と課題>

年間通し2回「運営推進会議」を開催する。地域とどのように密着した関わりを深めていくか出席者で意見交換を行うものであるが、今年度は日本各地で災害・被災が起こり、社会福祉法人としての役割や福祉避難所の役割等改めて考えていかなければならないと、身を引き締める場となった。会議を重ねていくなかで、地域との関わりが多く持てるよう意見交換を行って行きたい。

サービス実績報告(通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス)

利用率目標値:750人以下/月(1日29人)

利用定員:1日35人

延利用者数 事業対象者 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 合計 稼働日数 月間定員(日数×定員) 利用率	第1四半期小計					第2四半期小計					前 期 計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
						0						0	0
						0						0	0
	5	9	8	22	8	22	8	6	6	6	6	20	42
	192	207	189	588	206	588	206	228	193	228	193	627	1,215
	242	261	243	746	260	746	260	270	226	270	226	756	1,502
	101	96	93	290	101	290	101	86	83	86	83	270	560
	48	47	35	130	32	130	32	32	44	32	44	108	238
	20	20	37	77	40	77	40	44	45	44	45	129	206
	608	640	605	1,853	647	1,853	647	666	597	666	597	1,910	3,763
	26	27	25	78	27	78	27	27	25	27	25	79	157
	910	945	875	2,730	945	2,730	945	945	875	945	875	2,765	5,495
	66.8%	67.7%	69.1%	67.9%	68.5%	67.9%	68.5%	70.5%	68.2%	70.5%	68.2%	69.1%	68.5%

延利用者数 事業対象者 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 合計 稼働日数 月間定員(日数×定員) 利用率	第3四半期小計					第4四半期小計					後 期 計	総 計		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			8月	9月
													0	0
													0	0
	8	7	8	23	8	23	8	8	9	8	9	25	48	90
	179	163	156	498	166	498	166	180	206	180	206	552	1,050	2,265
	271	259	253	783	276	783	276	270	192	270	192	738	1,521	3,023
	89	66	56	211	55	211	55	64	67	64	67	186	397	957
	45	48	54	147	56	147	56	65	91	65	91	212	359	597
	43	49	50	142	53	142	53	56	63	56	63	172	314	520
	635	592	577	1,804	614	1,804	614	643	628	643	628	1,885	3,689	7,452
	26	26	24	76	24	76	24	25	26	25	26	75	151	308
	910	910	840	2,660	840	2,660	840	875	910	875	910	2,625	5,285	10,780
	69.8%	65.1%	68.7%	67.8%	73.1%	67.8%	73.1%	73.5%	69.0%	73.5%	69.0%	71.8%	69.8%	69.1%

* 稼働日数は、10月19日の台風直撃による営業中止を除く

サービス実績報告(総合事業・市基準通所型サービスA)

利用定員：1日7人

利用率目標値：750人以下/月（1日7人）

延利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
事業対象者	47	49	46	142	43	50	133	275
要支援 1	17	14	8	39	9	9	26	65
要支援 2	46	54	53	153	63	55	175	328
合計	110	117	107	334	115	114	334	668
稼働日数	26	27	25	78	27	27	79	157
月間定員(日数×定員)	130	135	125	390	135	135	395	785
利用率	84.6%	86.7%	85.6%	85.6%	85.2%	84.4%	84.6%	85.1%

延利用者数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
事業対象者	34	42	33	109	39	35	111	220	495
要支援 1	9	4	4	17			0	17	82
要支援 2	68	76	67	211	75	57	201	412	740
合計	111	122	104	337	114	92	312	649	1,317
稼働日数	26	26	24	76	25	26	75	151	308
月間定員(日数×定員)	130	130	120	380	125	130	375	755	1,540
利用率	85.4%	93.8%	86.7%	88.7%	91.2%	70.8%	83.2%	86.0%	85.5%

* 稼働日数は、10月19日の台風直撃による営業中止を除く

デザイナーサービス実績報告(認知症対応型)

利用率目標値:1日平均8人以上

利用定員:1日12人

延利用者数	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	0	0	0	0	0	3	3
要介護 2	40	42	40	122	35	35	39	109	231
要介護 3	24	23	32	79	38	44	41	123	202
要介護 4	36	17	9	62	15	20	22	57	119
要介護 5	42	57	52	151	40	36	31	107	258
合計	142	139	133	414	128	135	136	399	813
稼働日数	26	27	25	78	27	27	25	79	157
月間定員(日数×定員)	260	270	250	780	270	270	250	790	1,570
利用率	54.6%	51.5%	53.2%	53.1%	47.4%	50.0%	54.4%	50.5%	51.8%

延利用者数	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	5	3	3	11	0	2	2	2	13	16
要介護 2	41	25	11	77	14	16	15	45	122	353
要介護 3	38	52	31	121	33	22	42	97	218	420
要介護 4	22	32	24	78	34	37	28	99	177	296
要介護 5	36	38	39	113	43	34	40	117	230	488
合計	142	150	108	400	124	111	125	360	760	1,573
稼働日数	26	26	24	76	24	25	26	75	151	308
月間定員(日数×定員)	260	260	240	760	240	250	260	750	1,510	3,080
利用率	54.6%	57.7%	45.0%	52.6%	51.7%	44.4%	48.1%	48.0%	50.3%	51.1%

* 稼働日数は、10月19日の台風直撃による営業中止を除く

通所介護、介護予防通所介護、総合事業・国基準通所型サービス利用者状況

令和2年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		合計								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計						
4月	0	0	0	0	0	0	5	24	168	192	73	169	242	34	67	101	6	42	48	10	10	20	147	461	608
5月	0	0	0	0	0	0	9	25	182	207	77	184	261	41	55	96	2	45	47	9	11	20	154	486	640
6月	0	0	0	0	0	0	8	23	166	189	77	166	243	37	56	93	11	24	35	11	26	37	159	446	605
7月	0	0	0	0	0	0	8	27	179	206	75	185	260	40	61	101	7	25	32	11	29	40	160	487	647
8月	0	0	0	0	0	0	6	46	182	228	80	190	270	27	59	86	8	24	32	12	32	44	173	493	666
9月	0	0	0	0	0	0	6	34	159	193	59	167	226	24	59	83	10	34	44	12	33	45	139	458	597
10月	0	0	0	0	0	0	8	37	142	179	67	204	271	38	51	89	7	38	45	12	31	43	161	474	635
11月	0	0	0	0	0	0	7	29	134	163	56	203	259	42	24	66	0	48	48	13	36	49	140	452	592
12月	0	0	0	0	0	0	8	32	124	156	62	191	253	39	17	56	0	54	54	12	38	50	145	432	577
1月	0	0	0	0	0	0	8	40	126	166	86	190	276	41	14	55	3	53	56	11	42	53	181	433	614
2月	0	0	0	0	0	0	8	50	130	180	91	179	270	36	28	64	4	61	65	17	39	56	198	445	643
3月	0	0	0	0	0	0	9	58	148	206	40	152	192	34	33	67	28	63	91	27	36	63	187	441	628
合計	0	0	0	0	0	0	90	425	1,840	2,265	843	2,180	3,023	433	524	957	86	511	597	157	363	520	1,944	5,508	7,452

支援・介護度分布状況(%)

区分 月	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0.00	0.00	0.82	31.58	39.80	16.61	7.90	3.29	100.00
5月	0.00	0.00	1.41	32.34	40.78	15.00	7.34	3.13	100.00
6月	0.00	0.00	1.32	31.24	40.17	15.37	5.79	6.12	100.00
7月	0.00	0.00	1.24	31.84	40.19	15.61	4.95	6.18	100.00
8月	0.00	0.00	0.90	34.23	40.54	12.91	4.81	6.61	100.00
9月	0.00	0.00	1.01	32.33	37.86	13.90	7.37	7.54	100.00
10月	0.00	0.00	1.26	28.19	42.68	14.02	7.09	6.77	100.00
11月	0.00	0.00	1.18	27.53	43.75	11.15	8.11	8.28	100.00
12月	0.00	0.00	1.39	27.04	43.85	9.71	9.36	8.67	100.00
1月	0.00	0.00	1.30	27.04	44.95	8.96	9.12	8.63	100.00
2月	0.00	0.00	1.24	27.99	41.99	9.95	10.11	8.71	100.00
3月	0.00	0.00	1.43	32.80	30.57	10.67	14.49	10.03	100.00
平均	0.00	0.00	1.208	30.35	40.59	12.82	8.03	7.00	100.00

総合事業・市基準通所型A 利用者状況 令和2年3月31日現在

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計					
	男	女	男	女	男	女	男	女				
4月	4	43	9	8	17	8	38	46	21	89	110	
5月	4	45	9	5	14	9	45	54	22	95	117	
6月	4	42	8	0	8	9	44	53	21	86	107	
7月	5	45	9	0	9	9	46	55	23	91	114	
8月	4	39	43	9	0	9	54	63	22	93	115	
9月	3	37	40	8	0	8	49	57	19	86	105	
10月	4	30	34	9	0	9	8	60	68	21	90	111
11月	4	38	42	4	0	4	9	67	76	17	105	122
12月	4	29	33	4	0	4	8	59	67	16	88	104
1月	4	33	37	0	0	0	7	62	69	11	95	106
2月	4	35	39	0	0	0	9	66	75	13	101	114
3月	3	32	35	0	0	0	6	51	57	9	83	92
合計	47	448	495	69	13	82	99	641	740	215	1,102	1,317

支援・介護度分布状況(%)

区分 月	事業対象者		要支援1		要支援2		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
4月	42.73	15.46	41.82	100.00				
5月	41.88	11.97	46.15	100.00				
6月	42.99	7.48	49.53	100.00				
7月	43.86	7.90	48.25	100.00				
8月	37.39	7.83	54.78	100.00				
9月	38.10	7.62	54.29	100.00				
10月	30.63	8.11	61.26	100.00				
11月	34.43	3.28	62.30	100.00				
12月	31.73	3.85	64.42	100.00				
1月	34.91	0.00	65.09	100.00				
2月	34.21	0.00	65.79	100.00				
3月	38.04	0.00	61.96	100.00				
平均	35.92	4.29	59.79	100.00				

認知症対応型通所介護事業利用者状況

令和2年3月31日現在

区分 月	要支援1・2		要介護度1		要介護度2		要介護度3		要介護度4		要介護度5		合計							
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計					
4月	0	0	0	0	0	28	12	40	8	16	24	0	36	36	5	37	42	41	101	142
5月	0	0	0	0	0	30	12	42	9	14	23	0	17	17	4	53	57	43	96	139
6月	0	0	0	0	0	29	11	40	20	12	32	0	9	9	2	50	52	51	82	133
7月	0	0	0	0	0	23	12	35	25	13	38	4	11	15	0	40	40	52	76	128
8月	0	0	0	0	0	24	11	35	26	18	44	9	11	20	0	36	36	59	76	135
9月	0	0	0	3	3	28	11	39	26	15	41	8	14	22	0	31	31	62	74	136
10月	0	0	0	5	5	28	13	41	29	9	38	8	14	22	0	36	36	65	77	142
11月	0	0	0	3	3	22	3	25	37	15	52	9	23	32	0	38	38	68	82	150
12月	0	0	0	3	3	9	2	11	18	13	31	8	16	24	0	39	39	35	73	108
1月	0	0	0	6	6	11	3	14	13	14	27	7	27	34	0	43	43	31	93	124
2月	0	0	0	0	0	12	4	16	11	11	22	8	29	37	0	34	34	31	78	109
3月	0	0	0	0	0	12	3	15	12	30	42	8	20	28	0	40	40	32	93	125
合計	0	0	0	20	20	256	97	353	234	180	414	69	227	296	11	477	488	570	1,001	1,571

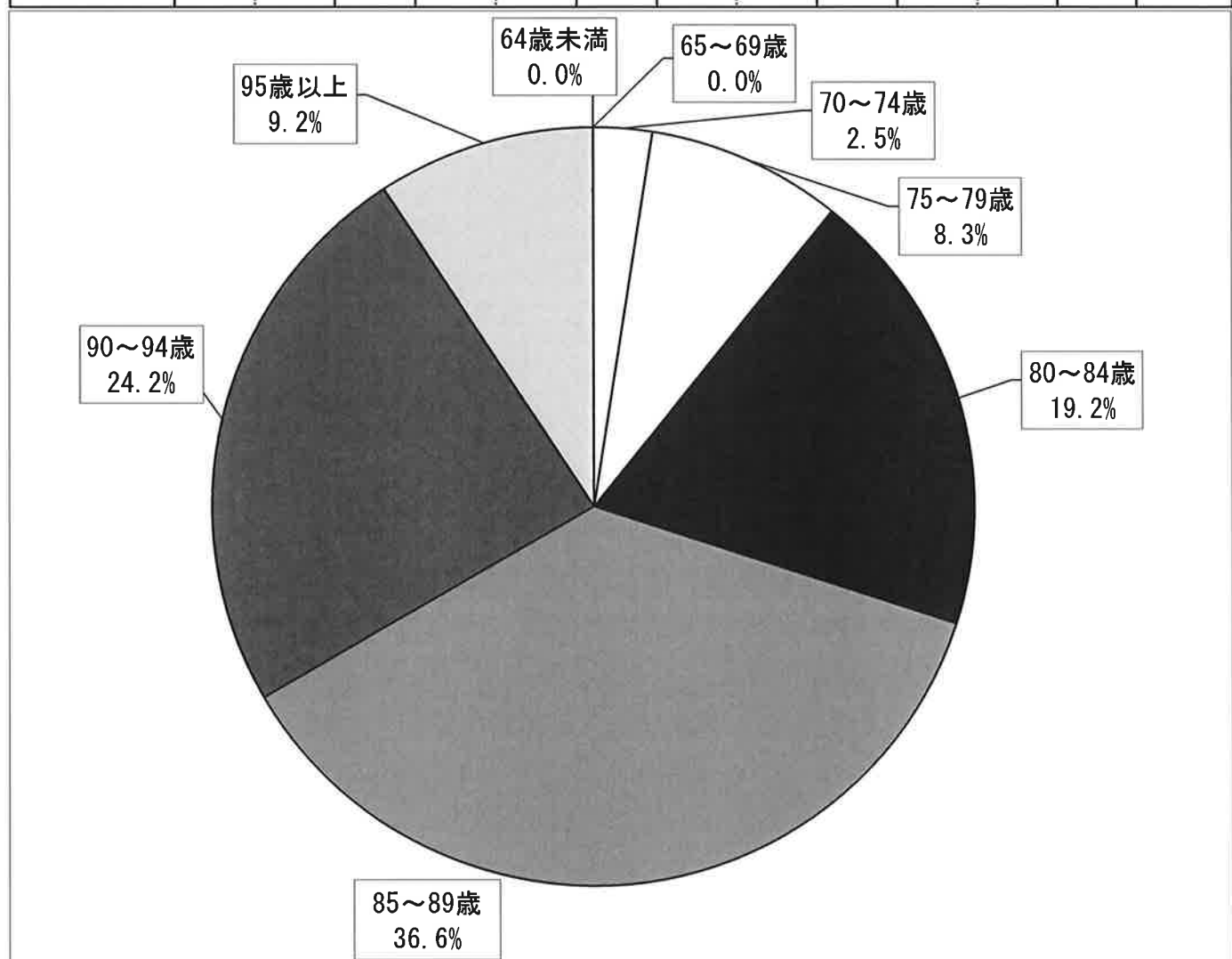
支援・介護度分布状況(%)

区分 月	要支援1・2		要介護1	要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	0.00	0.00	0.00	28.17	16.90	16.90	25.35	29.58	29.58	100.00		
5月	0.00	0.00	0.00	30.22	16.55	16.55	12.23	41.01	41.01	100.00		
6月	0.00	0.00	0.00	30.08	24.06	24.06	6.77	39.10	39.10	100.00		
7月	0.00	0.00	0.00	27.34	29.69	29.69	11.72	31.25	31.25	100.00		
8月	0.00	0.00	0.00	25.93	32.59	32.59	14.82	26.67	26.67	100.00		
9月	0.00	0.00	2.21	28.68	30.15	30.15	16.18	22.79	22.79	100.00		
10月	0.00	0.00	3.52	28.87	26.76	26.76	15.49	25.35	25.35	100.00		
11月	0.00	0.00	2.00	16.67	34.67	34.67	21.33	25.33	25.33	100.00		
12月	0.00	0.00	2.78	10.19	28.70	28.70	22.22	36.11	36.11	100.00		
1月	0.00	0.00	4.84	11.29	21.77	21.77	27.42	34.68	34.68	100.00		
2月	0.00	0.00	0.00	14.68	20.18	20.18	33.95	31.19	31.19	100.00		
3月	0.00	0.00	0.00	12.00	33.60	33.60	22.40	32.00	32.00	100.00		
平均	0.00	0.00	1.28	22.01	26.30	26.30	19.16	31.25	31.25	100.00		

利用者の年齢構成

令和2年3月31日現在

事業 年齢	通所介護			総合事業			認知症対応型 通所介護			合計			構成比 %
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
64歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
70～74歳	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	2	3	2.5
75～79歳	4	4	8	0	1	1	1	0	1	5	5	10	8.3
80～84歳	6	10	16	2	3	5	0	2	2	8	15	23	19.2
85～89歳	5	25	30	0	6	6	3	5	8	8	36	44	36.6
90～94歳	7	15	22	0	4	4	0	3	3	7	22	29	24.2
95歳以上	2	7	9	0	1	1	0	1	1	2	9	11	9.2
合計	25	61	86	2	16	18	4	12	16	31	89	120	100.0



区分 月	実利用者数(人)						延利用者数(人)						1日平均 利用者数 (人)	実施日数 (日)	摘 要	
	一般入浴			機械入浴			一般入浴			機械入浴						延利用者 合計(人)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
4月	7	22	29	7	17	24	53	28	81	109	26	79	105	214	26	8.2
5月	7	22	29	8	17	25	54	30	92	122	26	76	102	224	27	8.3
6月	7	24	31	8	17	25	56	29	84	113	29	67	96	209	25	8.4
7月	7	22	29	7	15	22	51	29	87	116	25	64	89	205	27	7.6
8月	7	23	30	7	15	22	52	34	93	127	25	66	91	218	27	8.1
9月	10	24	34	8	15	23	57	41	82	123	23	63	86	209	25	8.4
10月	10	25	35	6	14	20	55	43	85	128	19	65	84	212	26	8.2
11月	8	24	32	7	14	21	53	35	91	126	22	57	79	205	26	7.9
12月	7	24	31	6	15	21	52	24	81	105	16	54	70	175	24	7.3
1月	7	28	35	7	15	22	57	23	91	114	18	64	82	196	24	8.2
2月	9	27	36	6	15	21	57	25	97	122	23	67	90	212	25	8.5
3月	10	25	35	7	18	25	60	40	93	133	22	76	98	231	26	8.9
合 計	96	290	386	84	187	271	657	381	1,057	1,438	274	798	1,072	2,510	308	8.1

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
4月	月	113	64.6	18	72.0	33	66.0	146	64.9
	火	127	72.6	22	88.0	19	38.0	146	64.9
	水	98	70.0	18	90.0	27	67.5	125	69.4
	木	79	56.4	20	100.0	14	35.0	93	51.7
	金	102	72.9	12	60.0	26	65.0	128	71.1
	土	89	63.6	20	100.0	23	57.5	112	62.2
5月	月	92	65.7	11	55.0	20	50.0	112	62.2
	火	100	71.4	21	105.0	12	30.0	112	62.2
	水	118	67.4	21	84.0	34	68.0	152	67.6
	木	112	64.0	25	100.0	20	40.0	132	58.7
	金	131	74.9	15	60.0	30	60.0	161	71.6
	土	87	62.1	24	120.0	23	57.5	110	61.1
6月	月	97	69.3	12	60.0	29	72.5	126	70.0
	火	99	70.7	23	115.0	13	32.5	112	62.2
	水	102	72.9	11	55.0	22	55.0	124	68.9
	木	86	61.4	20	100.0	17	42.5	103	57.2
	金	105	75.0	11	55.0	24	60.0	129	71.7
	土	116	66.3	30	120.0	28	56.0	144	64.0
7月	月	109	62.3	15	60.0	29	58.0	153	61.2
	火	122	69.7	27	108.0	17	34.0	166	66.4
	水	119	68.0	15	60.0	27	54.0	161	64.4
	木	100	71.4	20	100.0	18	45.0	138	69.0
	金	95	67.9	13	65.0	19	47.5	127	63.5
	土	102	72.9	24	120.0	18	45.0	144	72.0
8月	月	86	61.4	12	60.0	25	62.5	123	61.5
	火	104	74.3	22	110.0	15	37.5	141	70.5
	水	91	65.0	12	60.0	27	67.5	130	65.0
	木	129	73.7	24	96.0	16	32.0	169	67.6
	金	126	72.0	15	60.0	28	56.0	169	67.6
	土	130	74.3	30	120.0	24	48.0	184	73.6
9月	月	114	65.1	12	48.0	28	56.0	154	61.6
	火	102	72.9	23	115.0	18	45.0	143	71.5
	水	86	61.4	12	60.0	28	70.0	126	63.0
	木	98	70.0	17	85.0	16	40.0	131	65.5
	金	100	71.4	17	85.0	24	60.0	141	70.5
	土	97	69.3	24	120.0	22	55.0	143	71.5
10月	月	94	67.1	12	60.0	20	50.0	126	63.0
	火	128	73.1	29	116.0	22	44.0	179	71.6
	水	109	62.3	20	80.0	34	68.0	163	65.2
	木	126	72.0	20	80.0	21	42.0	167	66.8
	金	97	69.3	13	65.0	27	67.5	137	68.5
	土	81	77.1	17	113.3	18	60.0	116	77.3

曜日別 年間実績表

		通所定員 35名		通所A 定員 5名		認知定員 10名		定員合計 50名	
月	曜日	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数	稼働率	延人数合計	稼働率
11月	月	77	55.0	11	55.0	20	50.0	108	54.0
	火	105	75.0	24	120.0	19	47.5	148	74.0
	水	83	59.3	16	80.0	27	67.5	126	63.0
	木	94	67.1	17	85.0	18	45.0	129	64.5
	金	111	63.4	25	100.0	31	62.0	167	66.8
	土	122	69.7	29	116.0	35	70.0	186	74.4
12月	月	92	65.7	12	60.0	14	35.0	118	59.0
	火	104	74.3	20	100.0	20	50.0	144	72.0
	水	88	62.9	15	75.0	24	60.0	127	63.5
	木	102	72.9	16	80.0	14	35.0	132	66.0
	金	92	65.7	20	100.0	15	37.5	127	63.5
	土	99	70.7	21	105.0	21	52.5	141	70.5
1月	月	101	72.1	12	60.0	12	30.0	125	62.5
	火	115	82.1	24	120.0	20	50.0	159	79.5
	水	91	65.0	15	75.0	26	65.0	132	66.0
	木	110	78.6	12	60.0	24	60.0	146	73.0
	金	92	65.7	22	110.0	19	47.5	133	66.5
	土	105	75.0	21	105.0	23	57.5	149	74.5
2月	月	107	76.4	10	50.0	12	30.0	129	64.5
	火	113	80.7	23	115.0	15	37.5	151	75.5
	水	94	67.1	19	95.0	16	40.0	129	64.5
	木	103	73.6	12	60.0	20	50.0	135	67.5
	金	96	68.6	21	105.0	20	50.0	137	68.5
	土	130	74.3	29	116.0	26	52.0	185	74.0
3月	月	122	69.7	8	32.0	23	46.0	153	61.2
	火	129	73.7	26	104.0	21	42.0	176	70.4
	水	92	65.7	11	55.0	19	47.5	122	61.0
	木	100	71.4	11	55.0	22	55.0	133	66.5
	金	93	66.4	14	70.0	18	45.0	125	62.5
	土	92	65.7	22	110.0	22	55.0	136	68.0
年間	月	1,204	66.2	145	56.0	265	50.5	1,573	62.1
	火	1,348	74.2	284	109.7	211	40.7	1,777	70.1
	水	1,171	65.6	185	72.4	311	60.8	1,617	65.1
	木	1,239	69.4	214	83.4	220	43.5	1,608	64.5
	金	1,240	69.4	198	77.9	281	54.8	1,681	67.7
	土	1,250	70.1	291	113.8	283	55.5	1,750	70.3

7. ホームヘルプ事業

昨年10月より開始となった介護職員等特定処遇改善加算の取得を開始しています。

ヘルパーについては初任者研修修了者1人、実務者研修修了者1人、認定ヘルパー3人が新たに採用となりました。ホームページや納涼祭でのチラシ配布を行いました。反響はありませんでした。

看取り介護については、今年度の大きなテーマとして取り組みました。興味深い内容でもあり、今後も取り組んでいきたい。

来年度も引き続きヘルパー確保に力を入れていきたい。

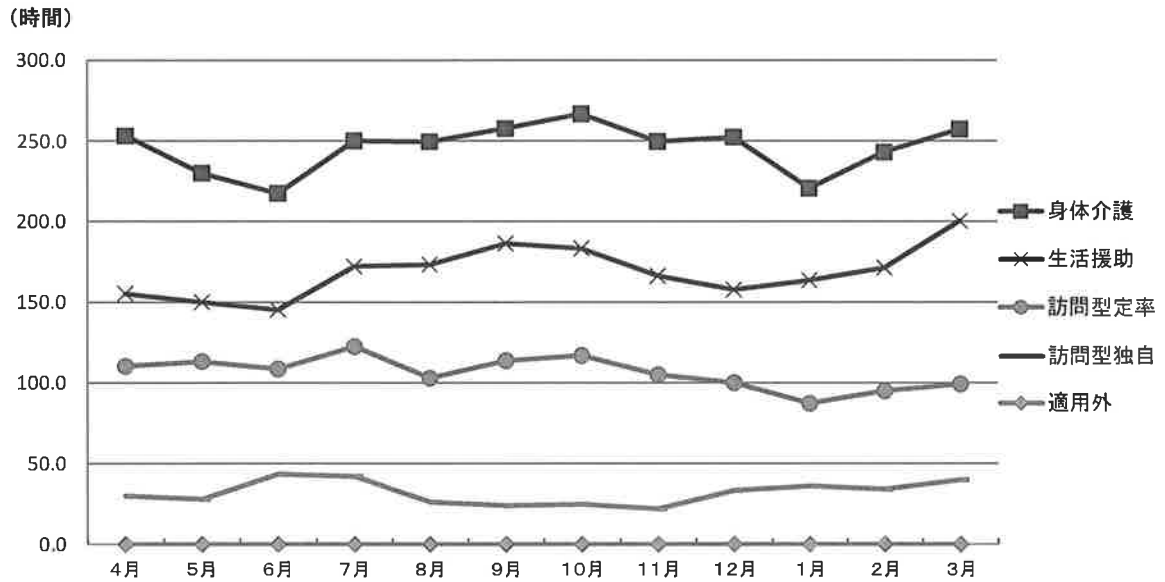
1	目 標	看取りに対応できる体制づくり
	結 果	① 今年度は「グリーンケア」を定例会の中でミニ研修として資料を基に7回シリーズで実施した。 ② 「グリーンケア」の研修の中で共感や寄り添うとはどういうことかなどが少しずつではあるが理解できたと思う。言葉自体まだ聞きなれないものだが利用者やその家族のみならず、ヘルパー自身にも重ねて実感できるものであり、今後も取り組んでいきたい。
2	目 標	専門職としての知識や技術の向上を目指す
	結 果	① 全国消費生活相談員を招き高齢者見守り出前講座を開催した。利用者宅の訪問の際の観察点等を学び、消費者被害に気付ける視点を養い支援に繋げていく。 ② 定例会にて事故報告とともに各自の経験談や防止策等の意見を求め情報共有に努めた。事故件数については昨年より20%減少しているが、引き続き防止策に取り組んでいく。調整ミス事故はシステムを見直し、来年度から取り組みを始める。
3	目 標	関係機関との連携を強化していく
	結 果	① 連絡会や担当者会議への参加とともに、参加する側も理解を深める課題を持って参加するようにした。 ② MCSの活用により情報がリアルタイムで届き、こちらからも発信できた。またヘルパーへの伝達もメール添付等で効率が良くなった。

年間訪問時間数

◎訪問介護及び予防介護の訪問時間

(単位：時間)

	身体介護	生活援助	訪問型定率	訪問型独自	小計	適用外	合計
4月	253.16	155.25	110.25	30.00	548.7	0.0	548.7
5月	230.02	150.00	113.25	28.00	521.3	0.0	521.3
6月	217.50	145.25	108.50	43.50	514.8	0.0	514.8
7月	250.00	172.25	122.50	42.00	586.8	0.0	586.8
8月	249.50	173.25	103.00	26.25	552.0	0.0	552.0
9月	257.70	186.30	113.75	24.00	581.8	0.0	581.8
10月	266.84	183.25	117.00	24.83	591.9	0.0	591.9
11月	249.67	166.25	105.00	22.00	542.9	0.0	542.9
12月	252.33	157.75	100.00	33.43	543.5	0.0	543.5
1月	220.50	163.50	87.25	36.00	507.3	0.0	507.3
2月	243.00	171.40	95.00	34.00	543.4	0.0	543.4
3月	257.20	200.40	99.25	40.00	596.9	0.0	596.9
合計	2,947.4	2,024.9	1,274.8	384.0	6,631.0	0.0	6,631.0
平均	245.6	168.7	106.2	32.0	552.6	0.0	552.6
構成比	44.4%	30.5%	19.2%	5.8%	100.0%		



新規登録・利用終了者数推移

	新規登録数		利用終了数		利用終了理由					
	介護	総合事業	介護	予防	死亡	施設	入院	転居	軽快	その他
4月	1	0	2	1	1	1				1
5月	0	2	0	0						
6月	3	2	2	0		1				1
7月	7	1	2	1	2					1
8月	2	0	2	0		1				1
9月	3	2	2	0		1				1
10月	3	1	5	1	2	4				
11月	0	0	1	0					1	
12月	0	0	1	0			1			1
1月	1	0	6	0		3	1	1		1
2月	4	2	2	0		2				
3月	3	0	4	0	1	1	1			1
小計	27	10	29	3						
合計	37		32		6	14	3	1	1	8

* 上記数字は実際に利用を開始した月となっています。

ホームヘルプ事業稼働実績

(単位:時間)

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
訪問介護	408.42	380.00	362.75	1,151.17	422.25	422.75	444.00	1,289.00	2,440.17
予防訪問介護	140.25	141.25	152.00	433.50	164.50	129.10	137.75	431.35	864.85
計	548.67	521.25	514.75	1,584.67	586.75	551.85	581.75	1,720.35	3,305.02

(単位:時間)

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
訪問介護	450.10	415.92	410.10	1,276.12	384.00	414.30	457.60	1,255.90	2,532.02	4,972.19
予防訪問介護	141.83	127.00	133.43	402.26	123.25	129.00	139.25	391.50	793.76	1,658.61
計	591.93	542.92	543.53	1,678.38	507.25	543.30	596.85	1,647.40	3,325.78	6,630.80

8. 地域包括支援センター

(1) 総合相談支援事業

1	目 標	複雑化する高齢者の相談に対して相談機能の強化・充実を図り、地域の公的な相談窓口としての役割を果たしていく
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の朝礼を実施し、新規相談への対応や支援方針を検討する。複数によるケース検討を行う事で初動の対応力の向上につながった。 ・地域住民や民生委員からの情報提供により高齢者訪問を実施し、支援につながるケースも増加しており高齢者の孤立防止につながっていく事ができている。 ・経験、職種、担当業務を考慮した専門研修を受講し、職員の資質向上につながる計画的な研修参加を実施した。
2	目 標	地域のネットワーク構築を推進していく
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、老人会、町内会等、地域サロンへの定期的な参加や介護予防の普及啓発を通して顔の見える連絡体制ができつつある。 ・地域ケア会議や様々な会議を通して専門職間の連携や連絡体制も以前よりスムーズになっている。

(2) 権利擁護事業

1	目 標	高齢者自身が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、権利擁護のための支援を行う
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用については、行政やあんしん狛江と連携を取りながら適切な制度利用につなげている。後見人等が選任された後も連携を取りながら後見人のサポート業務も実施している。 ・市内の専門機関（行政、社協、専門職団体）とケースや勉強会を通してつながりを作り、ネットワークの強化に努めた。 ・虐待通報に対しては早期対応に力をいれてきた。事実確認や法的な根拠に基づく対応を実施すると共に、行政と3包括により対応方法の振り返りや今後の支援方法について定期的な協議を継続して実施した。 ・消費者被害の増加について啓発活動に努め、地域のサロン等で講義なども実施する事ができた。 ・認知症サポーター養成講座については、みずほ銀行狛江支店17人と慈恵第三看護専門学校46人のサポーターを養成した。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

1	目 標	多様な生活課題を抱えた高齢者が、その人らしい生活が継続できるような課題に応じたあらゆる資源を活用し、包括的・継続的に支援していく
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・困難ケースへの同行訪問や事例検討会、地域ケア会議を通して居宅の介護支援専門員をサポートしつつ、ケアマネジメントの質の向上を図った。 ・職能団体や民生委員との連携の機会を作り、連絡会や勉強会への参加を通して連携強化を図りながら支援を実施した。 ・市が行うケアプラン点検に参加し、ケアマネジメントの標準化や適正

		<p>化事業への協力を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江市モデルの地域ケア会議について、行政と共にマニュアルの整備や手順の確認を行った。予防推進型の地域ケア会議を実施し、自立支援を通じた地域課題の抽出を行う事ができた。 支援困難ケース5件、予防推進型ケース1件を実施。
--	--	---

(4) 介護予防・日常生活支援事業

1	目 標	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、住民主体の多様なサービスを含めた幅広い支援を活用し、地域包括ケアシステムの推進を目指す</p>
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、日常生活総合事業への移行は順調に進み、訪問Bや通所型サービスB等の利用も促進するとともに、地域の活動や自主グループ等の活用を図り、給付に偏らないケアマネジメントを実施した。 ・介護予防教室を年32回実施した。(2月以降コロナウイルスの関係で中止)合わせて地域サロン等で介護予防体操等を実施し普及啓発に努めた。 ・介護予防教室の連続コースを開催し、卒業者と「歩こう会」という自主グループを立ち上げる。月2回の実施を継続した。参加者の増員を目指してチラシの作成や配布、講師を招いてのウォーキング講座を実施した事で10名前後の参加者となっている。 ・生活支援としては「駒井町3丁目の買い物便利マップ」を作成し、移動販売や商店等の情報をマップにして提供し広報や掲示板等に掲示した。 ・地域で活動している団体や居場所として活用できる場所を訪問し、地域包括との「つながり」作りを行った。

(5) 在宅医療・介護連携推進事業

1	目 標	<p>高齢者が安心して住みなれた地域で療養生活を送れるよう、医療と介護の切れ目のない連携体制を構築していく</p>
	評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口の周知活動として、活動報告を作成しケアマネ連絡会や医療機関に配布した。 ・年間通して40件以上の相談があり、医療機関や訪問看護に関する問い合わせが多い状況。 ・窓口のリーフレットを1,500部作成し完成している。納品が年度末となったため来年度から配布していく。 ・近隣総合病院の開催する連絡会、勉強会へも参加し連携強化に努めたことでスムーズな退院調整などに繋がっている。

(6) 認知症総合支援事業

1	目 標	本人、家族、地域住民への支援や啓発活動を通して、認知症を抱えた人が住み慣れた地域で安心して暮らす事ができるような「孤立しない地域」作りを目指す
	評 価	<ul style="list-style-type: none">・定期的な連携会議を通して認知症施策について協議を継続している。地域のネットワーク形成ができています。・初期集中支援チームについては相談やケース検討で終了するケースも多く目標件数に未達となった。ケースの抽出についても継続して検討をしていく。・もの忘れ相談会は年6回の定期開催を実施し、担当エリアの相談者がいる場合には包括職員も同席し対応した。こまえ苑エリアとしては4人の相談実績。その後の支援にもつながっている。相談者の利便性を考え土曜日の開催を実施したが、予想を下回る参加人数となった。開催曜日や場所の検討をしていく。・認知症サポーター養成講座を2回実施。慈恵第三看護専門学校、みずほ銀行で開催した。(主幹課が福祉相談課のため、来年度は権利擁護事業に組み込む。)・介護者の会は毎回4人名程度の介護をしている家族が参加。新しく今年度2人の方が参加されている。比較的長く参加している方もおり、新しい参加者の方の話を聞きながら話ができる環境が形成されている。参加者は介護している娘が多く、他の介護者層への働きかけも必要である。 特に男性介護者は相談相手がいない状況に陥りやすいため、参加しやすい工夫を考えていく。 ・認知症カフェについては8月(暑さ)、10月(台風)は中止し2月以降も新型コロナウイルスの関係で中止し、年8回の開催。毎回10名程度の参加者。認知症カフェ専用のホームページを作成し市の広報や回覧板等の広報活動を実施した。包括として相談会も併設したが、相談者はいなかった。カフェ自体の周知活動の工夫が必要である。

(7) 地域包括支援事業利用状況

1) 相談方法 (延べ件数)

令和2年3月31日現在

月	区分	電話	来所	訪問	会議	文書	FAX	その他	メール	計
4月		326	23	136	25	2	13	41	0	566
5月		362	38	142	18	1	28	18	0	607
6月		381	32	160	27	5	15	34	0	654
7月		413	27	159	43	8	6	31	6	693
8月		415	32	124	35	4	8	33	13	664
9月		328	33	148	23	4	13	22	5	576
10月		367	23	126	21	1	17	27	3	585
11月		289	19	132	30	1	23	21	3	518
12月		398	23	114	13	26	10	28	4	616
1月		275	31	106	13	15	8	27	7	482
2月		259	23	138	17	3	12	20	1	473
3月		343	24	116	22	11	14	24	18	572
合計		4,156	328	1,601	287	81	167	326	60	7,006

その他の相談方法

- ・デイサービス利用時
- ・病院内
- ・苑内他部署から

2) 相談者 (延べ件数)

本人	配偶者	子供	子供の配偶者	兄弟姉妹	孫	その他の家族		
3,391	297	767	130	52	3	63		
知人	市役所	保健所	警察	消防	民生委員	地域住民		
18	337	3	1	2	26	3		
医療関係	ケアマネジャー	サービス事業者	社会福祉協議会	その他	地域包括	あんしん狛江	匿名	合計
320	717	717	41	85	24	9	0	7,006

3) 対象者 (延べ人数)

	人数
64歳以下	130
65～69歳	230
70～74歳	609
75～79歳	1,464
80～84歳	1,765
85～89歳	1,841
90歳以上	910
不明	57
合計	7,006

4) 相談内容(延べ件数・重複記載)

令和2年3月31日現在

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
総合相談	地域包括のみ	69	84	86	59	60	59	57	73	51	56	44	43	741	1,223
	その他機関	39	24	35	40	26	30	26	33	33	37	44	38	405	
	その他	5	3	9	10	5	8	7	6	8	5	5	6	77	
予防ケアプラン	サービス内容	169	181	289	341	196	155	164	132	128	137	132	161	2,185	3,983
	サービス担当者	33	33	33	49	40	22	30	31	21	22	23	29	366	
	その他	77	99	128	130	136	121	121	91	227	104	77	121	1,432	
虐待	措置入所の実施	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時避難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
住宅改修	自宅訪問	2	4	2	1	4	3	4	2	2	1	0	1	26	35
	改修実施	1	1	1	1	3	0	0	0	2	0	0	0	9	
権利擁護	成年後見制度	7	13	13	28	10	10	5	2	5	0	1	3	97	384
	高齢者虐待	13	8	15	29	20	21	12	17	16	17	17	21	206	
	老人福祉施設	0	0	4	8	0	0	0	0	0	0	1	0	13	
	困難事例	1	9	13	8	2	0	2	3	3	4	4	5	54	
	消費者被害	0	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
	地域権利擁護	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	
	その他	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
包括ケアマネジメント	CMからの相談	26	28	30	36	25	45	28	26	26	11	24	22	327	410
	関係機関	6	11	8	15	10	5	3	7	3	1	1	9	79	
	包括からの相談	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	
二次予防	相談														0
	プラン作成 モニタリング														
成年後見	親族申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	市区町村申立	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
合計		450	507	669	757	537	480	460	423	526	395	373	460	6,037	6,037

5) 申請代行内訳

①市役所

配食サービス	5
特養入所申請	0
日常生活用具	12
ガス安全システム	0
自立支援住宅改修(予防改修・設備改修)	2
理美容サービス	1
徘徊探索サービス	6
介護用品支給等	7
緊急通報システム	0
寝具洗濯	0
あんしん見守り	12
ゴミ出しサポート事業	1
合計	46

②介護保険

介護保険(要介護・要支援)認定申請書 新規・更新・変更	301
介護(予防)サービス計画書届出書 予・居・総	199
住宅改修	10
福祉用具購入	0
福祉用具貸与	0
軽度福祉用具	12
介護保険負担限度額認定	1
高額介護サービス費	0
特別給付	0
負担減額	0
情報提供申請書兼同意書	327
チェックリスト	11
合計	861

6) 要介護度別 相談延べ件数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	
1,226	2,461	703	310	108	152	
要介護5	非該当	事業対象者	未申請	申請中	不明	合計
99	7	482	556	780	122	7,006

7) 地域包括支援センター 加算事業実績

令和2年3月31日現在

事業内容	単価	件数(回数)	小計
日常生活用具アセスメント	2,700	12	32,400
住宅改修理由書作成(自立)	2,700	2	5,400
住宅改修理由書作成(介護保険)	2,700	3	8,100
住宅(着工前)適正化調査票	2,700	0	0
福祉用具(購入)適正化調査票	2,700	0	0
介護予防普及啓発事業	30,000	32	960,000
家族介護者教室	30,000	1	30,000
合 計			1,035,900

8) 予防ケアプラン<新規及び終了者数>

右側カッコ内は委託数の再掲

月	区分 ケアプラン 作成数	新規	終 了				
			非該当	介護給付 へ移行	施設入所	死去	その他
4月	238 (30)	8 (1)		3 (1)			
5月	237 (29)	6		12 (1)			
6月	241 (32)	10 (2)		4			1
7月	238 (31)	10 (1)		5 (1)		1	1
8月	234 (31)	8 (2)		8 (1)		1	1
9月	231 (30)	3		4 (1)		1	1
10月	237 (30)	6		5		2 (1)	
11月	237 (28)	8		5 (1)			
12月	235 (28)	5		3			
1月	237 (30)	6 (1)					
2月	243 (31)	4 (1)		2		1	1
3月	227 (29)	6		7 (1)			
合 計	2,835 (359)	80 (8)	0 (0)	58 (7)	0 (0)	6 (1)	5 (0)

介護予防支援事業 実績報告

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
自法人作成	208	208	209	625	207	203	201	611	1,236
委託先作成	30	29	32	91	31	31	30	92	183
計	238	237	241	716	238	234	231	703	1,419

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
自法人作成	207	209	207	623	207	212	198	617	1,240	2,476
委託先作成	30	28	28	86	30	31	29	90	176	359
計	237	237	235	709	237	243	227	707	1,416	2,835

9. 居宅介護支援事業所（平成31年度）

（1）質の高いケアマネジメントを実践する

- 1) 課内の定期ミーティングで情報共有や事例検討を行い、業務の平準化とケアマネジメント力の相互育成に努め、担当者不在の場合も滞りなく対応することができた。
- 2) 虐待やサービス拒否、経済的困窮や本人や家族の精神疾患など、多問題を抱える家庭の支援困難ケースの対応については、地域包括支援センターや市役所担当者、保健所、成年後見人、障がいサービス担当者等と多職種連携のチーム体制で対応した。
- 3) 認定調査は、ケアプラン担当数が少なかった上半期で多数の件数を実施した。
- 4) 年度当初から専従職員4人以上の安定した体制が維持でき、特定事業所加算（Ⅱ）を通年で算定した。ケアプラン担当件数は一人当たり35件を目標におき、4月スタート時点の総数101件から、目標値の194件達成に向けて段階的に近づくよう、すべての新規相談案件を受付け新たに営業活動を行ったが、年度末の実績は135件（保留5件を含まず）にとどまった。
- 5) 入退院時の医療機関とのスピード感のある情報交換や退院に向けたカンファレンスに可能な限り参加し、医療介護連携を実践した。また、市内の介護支援専門員等に向けた自主学習の場として、居宅支援事業所3か所合同の自主勉強会「チームK」を年2回開催し、訪問看護との連携や認知症高齢者への取り組みを勉強した。

（2）人材育成の仕組みを整備する

- 1) 介護支援専門員の個々の経験値や能力・意欲等に合わせて、外部研修や事例検討会に参加した。
- 2) 東京都の介護支援専門員実務研修について、実習生2人の受け入れ指導を行った。
- 3) 今年度は主任介護支援専門員の資格取得要件を満たした1人が新たに増え、課内の主任介護支援専門員は3人となった。

（3）地域包括ケアシステムの構築に向け主体的に参画していく

- 1) 狛江市介護支援専門員連絡会の活動では、認知症・地域の防災・地域課題の抽出・アドバンスケアプランニング等のテーマを中心に、各専門家からの講義や多職種の意見交換などの勉強の場を作った。
- 2) 狛江市主任介護支援専門員連絡会では、地域に貢献できる主任介護支援専門員の活動をめざし、ケアプラン点検作業や定期的な事例検討会のファシリテーター役を通して、市内介護支援専門員全体のスキルアップを図った。

(4) 居宅介護支援事業利用状況

平成31年度

1) 加算対象(年間延べ件数)

初回	入院時 連携Ⅰ	入院時 連携Ⅱ	退院退所 Ⅰ 1	退院退所 Ⅰ 2	退院退所 Ⅱ 1	退院退所 Ⅱ 2	退院退所 Ⅲ	小規模 多機能型 連携
88	38	1	5	2	4	1	1	0
小規模 多機能型 連携	中山間地 加算	看小多機 能連携	緊急時等 カンファ	ターミナ ル加算	特定事業 所加算Ⅱ	特定事業 所加算Ⅲ	運営基準 減算	
0	0	0	0	2	1,501	0	0	

2) 認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0	5	16	14	13	15	13	7	5
1月	2月	3月	合計					
5	6	5	104					

3) 自事業所利用割合

*訪問介護	*通所介護	認知症通所介護	短期入所
33.3%	43.9%	52.5%	51.9%

* 特定事業所集中減算対象(一定条件のもと80%超は減算)

平成31年度 居宅介護支援事業実績

目標値:ケアマネ常勤換算一人あたり 35~39件

	4月	5月	6月	第1四半期小計	7月	8月	9月	第2四半期小計	前期計
要介護1	38	39	41	118	46	45	46	137	255
要介護2	34	38	38	110	38	39	45	122	232
要介護3	13	13	14	40	16	18	19	53	93
要介護4	7	6	6	19	6	6	6	18	37
要介護5	9	10	9	28	9	8	8	25	53
計	101	106	108	315	115	116	124	355	670
常勤換算/人	4.80	5.55	5.55		5.55	5.55	5.55		
一人あたり件数	21.04	19.10	19.46	19.87	20.72	20.90	22.34	21.32	20.59

	10月	11月	12月	第3四半期小計	1月	2月	3月	第4四半期小計	後期計	総計
要介護1	47	52	54	153	57	58	55	170	323	578
要介護2	46	48	49	143	45	42	38	125	268	500
要介護3	20	20	19	59	20	18	16	54	113	206
要介護4	9	10	9	28	9	14	15	38	66	103
要介護5	8	8	10	26	13	11	11	35	61	114
保留	0	0	0	0	0	0	(5)	0	0	(5)
計	130	138	141	409	144	143	135	422	831	1,501
常勤換算/人	5.55	5.55	5.55		5.55	5.55	5.55			
一人あたり件数	23.42	24.86	25.41	24.56	25.95	25.77	24.32	25.35	24.95	22.77